

# 『看聞日記』全文データベース

## 1, テキストについて

このデータベースは『続群書類従』所収の『看聞御記』をテキストとして、宮内省刊行の影写本を参看しながら作成した。本文については、『看聞日記』索引として検索・活用できるように旧字体の常用漢字化や人物注記などの史料操作をおこなっている。

## 2, 用字

データベースという性格上、用字は常用漢字を用いるようにした。また J I S 第一水準・第二水準の文字を使用しており、外字作成は行っていない。これは、MS-DOS のテキストファイルとして、ハード・ソフトともにさまざまなものでの幅広い活用を目論んだためである。

## 3, 史料操作について

本文中の傍注・割注については《》・〈〉で括った。また、〔〕は当研究会での注記であり、索引として検索の便宜をはかるためのものである。不明・疑問箇所については？や\*を、外字については=を入力した。また、本文上における改行は「」で表した。本文上の字下げや空白などについては、なるべく資料と同様に表すようにした。句読点については『続群書類従』では読点（。）に統一されているが、一部句点（、）に改めたものもある。

『看聞日記』については、『続群書類従』で活字化され、影写本も刊行されていることから、必須語句の検索のために大胆な注記を付けた部分もある。

## 4, ページ・年月日のコード化

本データベースでは、『続群書類従』のページおよび『看聞日記』の所載年月日をコード化しており、「ページ/年月日」という表記方法をとっている。

ページは、「P000A」というようにコード番号に置き換えている。3桁の数字が『続群書類従』のページであり、末尾の「A」は上段を「B」は下段を示している。例えば「P001A」ならば1ページ上段ということに、「P123B」ならば123ページ下段ということになる。

また、年月日は9桁で表記し、はじめの4桁が年（西暦）を、次の2桁が月を、その次の1桁が閏月か否かを、最後の2桁が日を表している。例えば、「141601001」は応永23年（1416）1月1日を、「141705013」は応永24年（1417）閏5月13日を、「141812028」は応永25年（1418）12月28日を示すものである。なお、晦日についてはすべて「30」にした。よって応永25年12月晦日は「141812030」とした。

## 5, その他

本データベースはまだ試作の段階である。表記（用字も含む）の統一・人物比定・注記の活用・外字の問題など解決しなければならないことが多数あるが、今後このデータベースを基本に、『看聞日記』すべての全文テキストデータベースを構築したいと考えている。

なお、本データベースの入力作業は澤井英樹・中野祥利が担当した。入力ミスなども多く含まれていようが、方法の問題など指摘いただければ幸いである。

（澤井英樹）  
(Tel. 0729-84-5411)

## 応永23年

P001A/141600000

応永廿三年〈自正月至十二月〉〈〔端裏書〕日記自今年〔応永廿三年〕書始之。以前不書。此年〔応永廿三年〕有大通院〔榮仁〕御事。〉

P001A/141601001

応永廿三〈丙申〉年正月一日。天氣快晴、日影和暖、每事幸甚々々。伝聞、節会内弁〈今出川〉左大臣〔公行〕・統内弁広橋大納言〈兼宣〉也。仙洞御薬、陪膳左大臣〔公行〕。室町殿〔義持〕親族拜人々参。今出河〔今出川〕大納言〈実富〉令所望初参云々。宮中〔伏見宮〕祝着之儀如例。経良卿・重有朝臣・長資朝臣等候。

P001A/141601002

二日。晴。院御薬、陪膳花山院大納言〈忠定〉勤仕〔勤仕〕云云。内裏淵醉、長資朝臣参。今様出歌、楊梅中将親家朝臣ニ令与奪。旧冬〔応永廿二年〕大嘗会之時、源宰相〈信俊卿〉音曲事令請益。為門弟之間令与奪云云。極臈源持経、殿上横敷座ニ不着、殿上人座之末ニ烈座〔列座〕云々。頭弁時房朝臣、背先例之由雖令諷諫不用之。結句下臈六位〔持経〕猶令座烈〔列座〕云云。

P001B/141601002

此上事重不及問答云々。持経當時室町殿〔義持〕御気色異于他。仍以權威如此任雅意〔我意〕敷之間、不及謂是非云々。祝着之儀如昨日。

P001B/141601003

三日。霽。院御薬、陪膳花山院大納言〔忠定〕如去夜云云。

P001B/141601006

六日。晴。叙位、執筆二条大納言〈持基〉也。

P001B/141601007

七日。霽。白馬節会、内弁花山院大納言〔忠定〕也。抑今夜地下〈山村木守〉風流之松拍参。次殿原〈田向庭田青侍・御所侍石立等〉松拍参賜捶退出。其後経良卿・長資朝臣、彼松拍召具帰参。只今被下捶等。於御前〔榮仁〕可賞翫云々。数剋酒盛乱舞。其興無極。

P001B/141601008

八日。晴。医師昌者法眼参。御所様〔榮仁〕旧冬〔応永廿二年〕自霜月之末、脚氣御所勞〔病〕以外之間、昌者療治申。

P002A/141601008

仍参。次第御減氣之由申珍重也。

P002A/141601009

九日。雨降。戌剋雷電暴風以外也。此時分赤氣耀着天。若焼亡敷之由不審之处、北山大塔〔七重〕為雷火炎上云々。雷三度落懸。僧俗番匠等捨身命雖打消、遂以焼失。併天魔所為勿論也。去応永七年〔応永十年〕相国寺大塔〔七重〕為雷火炎上。其後北山ニ被遷之。造営未終功之处又焼失。末代不相応敷。法滅之至可悲可歎。臈又、相国寺ニ被遷可被建立之由則有其沙汰云々。後日伝聞、北山女院〔康子〕八日御夢想ニ、故北山殿〔義満〕有入御女院〔北山女院・康子〕ニ被申様、近日之間御肝つふさるゝ事あるへし。雖然他所へ不可有御出。加様にて可有御座云々。御共ニ候男〔折烏帽子着云々〕以被奉萩〔萩〕女院〔北山女院・康子〕之間、何事ソましましと被仰けれハ、北山殿〔義満〕是ハ御為ニ無為なるへき御萩〔萩〕也と被申之由被御覽。御夢覺了。翌日大塔〔北山大塔〕炎上。不思議之御夢想也云々。仍焼亡之時、女院〔北山女院・康子〕他所へ

P002B/141601009

不出御。人々雖驚申御所ニ有御座云々。又聞九日大塔〔北山大塔〕上ニ喝食ニ三人・女房等徘徊。入夜蠟燭二冊廷ハカリトホシテ見へケリ。不経幾程炎上云々。天狗所行敷云々。

P002B/141601010

十日。晴。三位入道通光〔光仲〕参賀。抑室町殿〔義持〕へ今日諸人参賀。諸門跡・執柄〔関白・経嗣〕・大臣以下至官外記群参。然而無御対面。北山院ニ御参之間、面面退出。而須臾被帰亭。参賀人々被尋之处、皆退出之由申。以外腹立。不待申奇怪也云云。仍後日面々早出、恐入可有御免之由、就裏松中納言〈豊光〉歎申之間、門跡・執柄〔関白・経嗣〕・左府〔左大臣・公行〕許可有御対面可被参之由被仰云々。十二日重面々参賀之处、御室〔永助法親王〕御対面。其外執柄〔関白・経嗣〕・左府〔左大臣・公行〕以下無御対面。猶不快敷。諸人計会云々。

P002B/141601011

十一日。雪降。早朝指月庵雪、御所〔治仁〕御歴覽。予〔貞成〕・重有朝臣參。於歸路經良卿・長資朝臣參。重又指月〔指月庵〕へ行。彼卿〔經良〕一盞張行申有其興。須臾歸了。

P003A/141601011

自京松拍參。猿樂等乱舞。其興不少。捶ヲ賜。則飲之令乱舞。祿物扇等賜之。抑今日自往年為佳例面々献一献。外様菊弟〔菊亭〕左府〔左大臣・公行〕・勾当局〔藤原能子〕・四条少将隆富・宮中〔伏見宮〕男女悉進之。終日酒宴乱舞。御前之儀了。於新御所〔治仁〕又有酒盛酌酌祝着而已。外人不參。綾小路三位〔經良〕・重有朝臣・長資朝臣候。

P003A/141601013

十三日。晴。隆盛朝臣・經時朝臣・經興同道參賀。御所様〔榮仁〕依御歡樂〔病〕無御対面。長広同參賀。抑新御所〔治仁〕万秋樂序三帖、奥二拍子秘説被伝受申。

P003A/141601014

十四日。晴。大光明寺風爐〔風呂〕二入。風呂始也。長広退出。

P003A/141601015

十五日。晴。地下村々松拍參。先山村〔木守、寺〔大光明寺〕之人供・行者等〕種々風流摸舞樂。參向之儀有其興。則焼三毬杖\*如例。菓子二合・捶賜之。次三木村、次石井村、次舟津、各種々風流、其興千万。皆同賜捶。

P003B/141601015

見物雜人群集。

P003B/141601016

十六日。晴。踏歌節会。内弁二条大納言〔持基〕也。三条大納言〔公量〕奏慶内弁可勲仕〔勤仕〕之由治定之處、先日室町殿〔義持〕參賀早出為突鼻人数之間、室町殿〔義持〕拝賀不可叶之由嚴命之間、拝賀延引。仍二条大納言〔持基〕俄勲内弁云々。

P003B/141601018

十八日。晴。三毬杖\*少々焼之。於門前〔伏見宮〕大三毬杖\*焼之。

P003B/141601019

十九日。晴。長照院殿〔光明皇女?〕并今御所〔?〕入御。良寿房同參。有酒饌。予〔貞成〕不入見參。

P003B/141601020

廿日。晴。住心院豪融僧正參賀。

P003B/141601022

廿二日。陰。余寒甚如冬。聞今出川宰相中将〔公富〕今日儲男子〔?〕云々。初度也。室嫁〔公富室嫁〕者故大内記菅原長頼朝臣息女〔?〕也。殊自愛之由聞。賀遣了。去廿一年〔応永廿一年〕歲暮二迎之。早速懷妊高名之至歟。

P003B/141601024

廿四日。晴。予〔貞成〕万秋樂序三帖、奥二拍子秘説奉伝受。左馬頭永基參賀一献持參。酒宴数献。

P004A/141601024

音曲等有之。永基吹尺八。可謂殊勝歟。面々沈醉也。大教院隆經律師參賀。

P004A/141601026

廿六日。晴。先日奉伝受万秋樂秘説奥書今日被下之。

P004A/141601027

廿七日。晴。今夜庚申也。於新御所〔治仁〕御方守之。新御所〔治仁〕・予〔貞成〕・乾藏主〔周乾〕・綾小路三位〔經良〕・重有朝臣・長資朝臣等候。回茶以下双六等有之。

P004A/141601028

廿八日。晴。正永・勝阿・祐誉律師等參賀。有一献。

P004A/141601030

卅日。晴。御所様〔榮仁〕御病氣於于今御減之間、今日御湯始也。昌耆法眼參。良藥御湯二被入。菓等献之。御湯了昌耆賜祿。御馬一匹〔青黒〕、置鞍〔但有儀当座不置鞍。御馬勸修寺經興被仰献之〕。賜一献了退出。綾小路三位〔經良〕令奉行。椎野殿御參賀。隆富參。御湯珍重之間面々進一献。酒宴及歌舞。綾小路三位〔經良〕・重有朝臣・長資朝臣・隆富・正永等候。

P004A/141602001

二月一日。晴。吉兆每事幸甚々々。早旦自藏光庵

P004B/141602001

点心三種茶子等進之。是休翁庵主〔休翁普観〕七年忌云々。鹿苑院主〔鄂隠和尚〕・大光明寺長老〔徳祥正麟〕以下僧衆濟々超請〔招請〕云々。惣得庵〔?〕参来。

P004B/141602006

六日。晴。乾蔵主〔周乾〕一献被申沙汰。御所様〔栄仁〕御本復賀酒云々。

P004B/141602007

七日。晴。聞、少納言入道常宗〔清原良賢〕、室町殿〔義持〕へ自今春細々止参仕云々。老体至極之間世事申沙汰難治之間、毎時斟酌暇お申入云々。此御所〔伏見宮〕便宜事申次之処、被落御力了。来廿八日於内裏可有舞御覧云々。奉行右少弁経興也。室町殿〔義持〕申御沙汰云々。

P004B/141602008

八日。晴。有和歌御会。兼日出題有披講。綾小路三位〔経良〕・重有朝臣・長資朝臣候。披講了有盃酌。椎野・乾蔵主〔周乾〕・寿蔵主〔仲寿〕等在座。一献了所々梅花令遊覧。退蔵庵・蔵光庵・即成院・隆成寺等見之。次法安寺参詣。

P004B/141602009

九日。聞、室町殿〔義持〕御参内。一献料万疋。唐物五種

P005A/141602009

持参云々。其中香箱無比類重宝也云々。

P005A/141602010

十日。晴。有一献。是御所様〔栄仁〕御本復賀酒。宮中〔伏見宮〕男女各申沙汰也。且庭前梅花賞翫旁得其便。終夜大飲及乱舞。

P005A/141602011

十一日。陰。晚雨降。当座御歌俄御張行。抹香ヲモリテ一寸燃間詠出為勝。一寸より余為負。各取懸物、負者出懸物。御製〔栄仁〕・新御所〔治仁〕・予〔貞成〕・椎野、各詠五首。折節男共不祇候。面々早速詠出之間無勝負。然而取懸物了。

P005A/141602012

十二日。晴。有御連歌。今春初度也。禪啓・広時祇候。奉一献之間及数献。酒盛乱舞之間、五十韻被闕了。翌日百韻〔百韻〕畢。

P005A/141602015

十五日。晴。涅槃講被行之。即成院僧是明房・善基房参勤〔参勤〕。是明詠講式。善基唱伽陀。尺迦〔釈迦〕念仏和讃舍利礼等有之。捧物共宮中〔伏見宮〕男女献之。夜光台寺二参。涅槃講令聴聞。

P005A/141602016

十六日。朝雨降昼風吹。昨日捧物等支配僧達

P005B/141602016

被送遣。相残物男女取孔子有其興。聞、今日大原野祭。今出川大納言〔実富〕令参行云々。

P005B/141602017

十七日。晴。綾小路前宰相〔信俊〕参。今春初参也。抑勾当局〔藤原能子〕春日祭為内侍参行云々。帰路被参。一献持参。芝殿〔経良卿室嫁〕参。多年不参。珍敷客人共也。一献。終夜音楽雜芸尽其興。予〔貞成〕依勾当〔勾当局・能子〕所望出朗詠。信俊卿・経良卿助音。暁天事了。勾当〔勾当局・能子〕令祇候。芝殿退出。予〔貞成〕年少之時、勾当〔勾当局・能子〕・芝殿見参。其後不向顔。云勾当〔勾当局・能子〕、云芝殿、見参為悦。

P005B/141602018

十八日。陰。夜雨降。勾当〔勾当局・藤原能子〕早旦御所旧跡遊覧。帰参有一献。自新御所〔治仁〕御沙汰云々。勾当局女〔号宮内卿〔?〕〕召御前〔栄仁〕賜盃。源宰相〔信俊〕・三位〔経良〕・重有・長資等朝臣各迷乱。詠音曲令賞翫。勾当〔勾当局・能子〕退出。参事内裏へ隠密申云々。今夜源宰相〔信俊〕一献申沙汰。

P005B/141602019

十九日。雨降。有御楽。舞立五番。笙経良卿・長資朝臣、笛源宰相〔信俊〕、比巴〔琵琶〕新御所〔治仁〕・余〔貞成〕、大鼓御所作〔栄仁〕

P006A/141602019

〔三位〔経良〕替々打之〕。今春御楽始也。御楽了有盃酌。夜召源宰相〔信俊〕・予〔貞成〕。音曲令稽古。催馬楽・朗詠・早歌等、至深更詠之。且依仰〔栄仁〕也。

P006A/141602020

廿日。晴。源宰相〔信俊〕退出。俄有御茶会。三位〔経良〕・重有朝臣・長資朝臣・寿蔵主

〔仲寿〕等候。自今可為順事各被結番。今日者御所様〔荣仁〕為御頭。被出懸物。三位〔経良〕一矢数取懸物。相殘懸物取落孔子。

P006A/141602022

廿二日。晴。〈世尊寺〉行豊參。一献持參。又是明房先日御講參勤〔參勤〕畏申。御捶献之。重疊有一献。

P006A/141602023

廿三日。晴。聞、三位〔経良〕・重有・長資等朝臣、行豊・寿藏主〔仲寿〕等宝泉許へ行。森船新造一覽云々。次連歌張行。百韻了有引出物云々。

P006A/141602024

廿四日。晴。時正結願也。長政〈重有朝臣青侍〉令出家〈法名行光〉。雖無指題目、搆老体遂出家了。惠舜藏主被来暫請暇云々。

P006A/141602026

廿六日。雨降。先日順事回茶。予〔貞成〕。長資朝臣。沙弥行光等為当番。一献等申沙汰。懸物事逸興之物

P006B/141602026

可用意之由、依仰如形風流物等進之。笛付竹枝〈以引合作之〉。箏篳一管〈以茶作之〉。柳枝付櫛。島形二石苔浪等有之〈氣霽風梳新柳髮詩心也〉。花笠〈本結犬張子等笠二付以花飭之〉。風鈴付花枝〈以鵝眼作之〉。青馬数疋付花枝。已上自分〔貞成〕也。花枝〈色々五種付之〉。長資朝臣所進也。花枝〈犬箱張子等付之〉。行光進之。座敷聊飭之。屏風繪花瓶等並之。茶以前一献。次回茶七所。各取懸物。相殘懸物取落孔子。茶了酒宴催興。舜藏主〔惠舜〕・綾小路三位〔経良〕・重有・長資等朝臣、寿藏主〔仲寿〕・沙弥行光・明盛・広時・禪啓等候。予〔貞成〕所進懸物。公私有褒美為眉目。

P006B/141602028

廿八日。朝雨下。御所〔伏見宮〕東谷岸上者三木善清城郭\*旧跡也。善理相統管領云々。而蔵光庵二永代令沽却。仍自彼庵〔蔵光庵〕以人勢茶園松樹等栽之。御所〔伏見宮〕近所之間被相尋之處、此子細申之間、善理就管領沽却者雖無子細、公方〔?〕不伺申入、永代沽却之条不可然事也。於向後者寺庵沽却事者、

P007A/141602028

可伺申入之由、以奉行三位〔経良〕被仰政所禪啓了。

P007A/141602029

廿九日。天晴。夜雨降。禁裏舞御覽可為昨日之處、依雨延引。今日有御覽。室町殿〔義持〕申沙汰。殊嚴重之儀也。一献被進之。破子風流尽善尽美。樂器共色々破子二被作大々鼓。風流殊更殊勝也云々。一献之外万疋。唐盆二上燒之沈被入被奉之。每事莊觀難\*覃言詞云々。舞樂十番。參音声。賀王恩。安摩。二舞。左右。万歳樂。地久。採桑老。新鞞鞞。春庭花。長保樂〈弦管殘〉。秦皇。皇仁。打毬樂。垣破。河南浦。胡德樂。太平樂〈糸竹殘〉。狛梓。北庭樂〈弦管殘〉。林歌〈同〔弦管殘〕〉。拔頭。八仙。陵王。納曾利〈弦管殘〉。退出音声。長慶子。所作人、笙花山院大納言〈忠定〉・中御門前中納言〈宗量〉・山科宰相〈教興〉・教有朝臣・教豊朝臣・資雅朝臣・隆盛朝臣・地下藤秋・為秋・家秋・豊原郷秋・同〔豊原〕敦秋・同〔豊原〕村秋・同〔豊原〕勝秋・同〔豊原〕遠秋・同〔豊原〕久秋、

P007B/141602029

箏篳揚梅前右兵衛督〈兼邦〉・兼英朝臣・兼豊・安部〔安倍〕季長・同〔安倍〕季量、笛太炊御門〔大炊御門〕中納言〈信経〉・洞院中納言〈滿季〉・綾小路前宰相〈信俊〉・教高朝臣・光相朝臣・地下景房・景親・太神〔大神〕景勝・同〔大神〕景藤・同〔大神〕景興、比巴〔琵琶〕〈今出川〕左大臣〔公行〕・園宰相〈基秀〉・孝長、箏裏築地〔裏辻〕宰相中將〈実秀〉・季保朝臣・季俊、鞞鼓氏清、大鼓景秋、鉦鼓遠秋、三鼓家秋。舞樂凡無為也。但大鼓拍子遅々間、舞樂不思様云々。後日有沙汰。景清異失敷。秦皇早吹事兼日有沙汰。比巴〔琵琶〕左府〔左大臣・公行〕不彈閣之。実秀卿・季保朝臣・季俊、箏同閣之。仙洞〔後小松〕早吹之說御箏不彈御。仍勅弟〔?〕箏不彈云々。於琵琶者雖可彈之。先度於仙洞舞御覽之時、上皇〔後小松〕依無御所作、左府〔左大臣・公行〕令斟酌了。仍今度モ不彈云々。樂拍子許彈之。早吹之時閣之。凡御爭說雖不被遊、於琵琶者各別事也。可彈敷。其上内裏也。非仙洞御前〔後小松〕。尤可彈敷。然而左府〔左大臣・公行〕所存故実二令斟酌敷。

P008A/141602029

且此御所様〔荣仁〕へ兼日被申談了。基秀卿

・孝長者彈之。但基秀卿早吹之說無左右彈之  
条如何。此御所〔榮仁〕師弟之儀也。不受御  
說之處彈之条不審也。於管者堂上所作悉吹之。  
太炊御門〔大炊御門〕中納言〔信經〕、長保  
樂急殘之時笛吹損。仍早速吹笛云々。

P008A/141603001

三月一日。天晴。告朔吉兆。每事幸甚々々。  
先日順事有茶会。新御所〔治仁〕・重有朝臣  
・広時頭役也。一献広時奉行。有風流。長櫃  
二合、種々肴点心等納之。其中大俵\*一（捶  
ヲ納大黒之俵\*也ト号之）。又有大槌号打出  
小槌（大カコ〔箆〕ヲ槌ニ張テ如意宝珠ヲ画。  
其中ニ茶子種々入之。槌ノ柄ノ中ニ酒ヲ入御  
盃被聞食之時御加ニ備之）。又桃花枝ニ芋ヲ  
付号西王母園桃。凡其風情逸興無極。次懸物。  
新御所〔治仁〕被出之。船一艘女房一人（候  
之。着衣袴）乘之。舟之舳前ニ扇ヲ立。那須  
与一射扇風情云々。舟中種々物被納（沙金軟  
廷一裏。鵝眼ヲ裏。張良書一卷。茶碗\*呉器  
壺箱等種々納之）。又弓一張（弦細帶）。箭  
一手（箭根筆也）。梅花一枝（以鵝眼作花）  
号金仙花。又花枝ニ

P008B/141603001

付雁（以昆布作之。金付筆等付之）。竹瓶ニ  
立。瓶ノ中ニ茶入。已上新御所〔治仁〕御分。  
弓一張・笑〔矢〕一手（以火箸作之）。的一。  
文筥一。進上（御奉行所自伊勢国ト銘ニ書之。  
納物不知之）。檀紙御盃（杯六梅花ニ作之。  
台ニ居之。以円座作之）。捶肴等。以上重有  
朝臣所進也。花一枝（文扇等付之）広時献之。  
会所聊被饒之。立屏風絵三幅（本尊観音。脇  
猿）懸之。茶碗\*瓶一對（立花）卓ニ居。伏  
見院宸筆一卷懸之。先茶以前一献。次回茶  
（七所）一矢数禅啓也。則取恩賞（金仙花。  
弓一張。箭一手。鵝眼一裏）。次酒宴之間懸  
物共落孔子ニ取。茶不飲人数男女皆取之。孔  
子不取当人ニも一種ツ、配分。惣得庵主〔?〕。  
比丘尼兩三被召加。一献敷盃之後。梅花盃被  
聞食。面々至極沈醉之間、或逃不飲之。音曲  
乱舞。終日尽興。及深更事了。

P008B/141603003

三日。朝雨下昼風吹。近日花盛也。風雨落花  
狼藉也。無念也。桃花宴如例。但鷄闘之儀被  
略。当所〔伏見〕鷄不養。仍無之。行豊祇候  
連歌一折御張行。行豊執筆也。百韻不終。

P009A/141603004

四日。天陰。大光明寺花盛也。御所様〔榮仁〕

被御覽。御病氣以後初而御出。尤珍重。新御  
所〔治仁〕・余〔貞成〕・三位〔経良〕・長  
資朝臣・行豊參候。寺〔大光明寺〕長老（徳  
祥和尚〔徳祥正麟〕）出合申献御茶。則還御。  
於花下惣得庵〔?〕參会。花一見之由被搆之。  
則彼庵〔惣得庵〕へ被招引申。此為（ニ）態  
參会也。新御所〔治仁〕・予〔貞成〕同詔請  
〔招請〕。予〔貞成〕年少之時、相殿〔杉殿  
・庭田資子〕同道此庵〔惣得庵〕ニ參。其後  
今日始而參。御所様〔榮仁〕御本復御出珍重。  
殊更為悦申云々。三献了還御。昨日一座百韻  
被続了。行豊連歌初而聴聞。凡器用敷。但未  
初心也。又有一献。御前〔榮仁〕一献了。行  
豊新御所〔治仁〕へ被召賜御盃。初參之間被  
下御手本（権跡〔藤原行成〕）。

P009A/141603006

六日。晴。京都有大燒亡。自五条万里小路火  
出来。数十町燒云々。上榻〔上杉〕一族屋形  
炎上云々。

P009A/141603007

七日。晴。順事茶御会。綾小路三位〔経良〕  
・（行蔵庵主）寿蔵主〔仲寿〕・（地下政所）  
禅啓為頭役申沙汰。以外大儀也。綾小路前宰  
相〔信俊〕被召參候。長広被加御人数。雖領  
状申不參狼藉也。

P009B/141603007

玉櫛禅門ふと被參。折節喜悦。先是早旦御会  
所室礼屏風立廻（絵以下饒略之）。御湯殿上  
庭前ニ敷板敷、引幕搆雜掌所。剋限昇長櫃  
種種御肴、置雜掌所。次風流之懸物自南面門  
昇入広廂置之。先大黒天神（以種々精進物大  
黒ヲ作。肩ニ懸ル袋、足ニ踏俵\*ニ茶也。形  
勢真大黒不相替）。又著束帶官人帶劍笏。柳  
桜下ニ立。桜枝ニ星ヲ懸（星食物霰也）。柳  
枝ニ露ヲ置（露食物雪也）。旗一流枝ニ懸  
（旗以昆布作之）。地盤沙ヲ敷（沙食物雪）。  
官人モ以食物作之。是詩心云々（花揺劍佩星  
初落。柳払旌旗露未乾。独有鳳凰池上客。陽  
春一曲和皆難）。已上寿蔵主〔仲寿〕所進也。  
次新車一両（八葉之文以錢作之。棟木ニ扇ヲ  
置。前後簾角総ニ織物之帶ヲ結懸。半帖ニイ  
ケ、ヲ敷。左右輪以扇十本作之。輓ニ以織物  
帶懸鞞。榻ニ筆ヲアミテ榻ノ簀子ニ敷。藤花  
画タル坏大小十三。藤ノ房ニナラヘ置。以榻  
為藤之坏台）。次富士山（大伏籠ヲ紙ニテ張。  
山ヲ色トリテ。麓ニ小松ヲ栽。山ノ頂ニ綿ヲ  
ムシリテ懸如雪。富士ノ中ニ種々菓子積置）。  
次橋（高欄アリ橋ノ下ニ水ヲ繪ニ画。此下ニ

捶二置之)。橋上ノニ新鋸置之(各以木作之)。此心古今〔古今和歌集〕序富士山モ煙タゝスナリ。長柄ノ橋モ作ナリ云々。以上三位〔経良〕所進也。凡風流共言語道断驚目了。男女庭上

P010A/141603007

群集見之。先有一献。次回茶(七所)。一矢数又禅啓也。取恩賞。次酒宴三献之間、禅啓申云、御肴ニ桂女召寄可被御覽云々。則桂女二人參(新左衛門有善・御所侍善国、為桂女)。其姿美麗之小袖ニ帷ヲソホ折テ髪ヲ裹(如女房作眉)。桶ヲ頂(此桶角桶也。繪殊勝也。源氏心心)。桶中ニ鮎等種々御肴納之。兩人御前ニ參。御簾之内へ桶ヲ差入退出。其体桂女ニ不相替。其興無極。是禅啓所進風流也。次懸物落孔子ニ取(富士御所様被召。玉櫛〔玉櫛禅門〕大黒ヲ取。官人三位〔経良〕取之。自余或被置。或面々取之)。孔子了大飲。音楽等面々尽芸能。田植之風流ヲシテ早乙女三人(善国・有善・広輔)。色々小袖ヲ着シ髪ヲ裹テ田歌ヲ詠。早苗ヲ植テ舞。前宰相〔信俊〕笛ヲ吹。三位〔経良〕・重有・長資等朝臣、拍子ヲ打。拍之二度。被召返賜御扇。次広時猿飼姿ニ出立。エ袋〔餌袋〕ヲ腰ニ付猿ヲ作(以敷皮作之)舞ス。其風情天骨也。有興有感。自御所〔栄仁〕被下御扇。玉櫛〔玉櫛禅門〕同賜扇。女中も賜之。凡広時天性有骨者也。次藤花盃被聞食。

P010B/141603007

公私皆飲之(新御所〔治仁〕花二房被聞食。御堪能之至也)。面々沈酔至極。乱舞其興無極。衣カツキ等男女群參拜見申。晴々敷酒宴也。及深更事了。其後於台所至暁天酒盛。局女相交云々。如此御会邂逅之間委細記之。

P010B/141603009

九日。晴。玉櫛禅門被退出。昌耆法眼參。晚頭遊山折紫蕨。新御所〔治仁〕・予〔貞成〕・源宰相〔信俊〕・重有朝臣・長資朝臣等也。帰參於御前賞翫。源宰相〔信俊〕一献申沙汰。有御樂。平調樂七、朗詠等有之。笛源宰相〔信俊〕、笙三位〔経良〕、琵琶〔琵琶〕新御所〔治仁〕・予〔貞成〕、大鼓御所作〔栄仁〕也。聞、仙洞有猿樂(梅若仕)。

P010B/141603010

十日。霽。御香宮神事。猿樂如例。樂頭八田〔矢田〕愛王大夫、自去年有罪科事。被払八田庄〔矢田庄〕云々。仍当所〔伏見〕ニテ隱

居。依為樂頭。雖執行神事脇之猿樂無之。仍他郷猿樂(大法師丹波猿樂)、雇之。令猿樂云云。源宰相〔信俊〕祇候之間有御樂。双調樂五。

P010B/141603011

十一日。晴。猿樂如昨日。大光明寺打挾敷〔棧敷〕。鹿苑院主

P011A/141603011

(鄂隱和尚〔顎隱惠\*])以下。権門僧達詔請〔招請〕見物云々。自僧中禄物濟々賜之。六番仕云々。御所様〔栄仁〕灸治有御沙汰。其後御樂。盤涉調樂五、朗詠等也。三位〔経良〕宿所(芝俊阿宿所借住)客人来急退出。源宰相〔信俊〕相伴。樂可張行云々。大鼓申出。宿所へ罷出。道すから源宰相〔信俊〕吹青海波。三品〔経良〕吹笙。重有朝臣打大鼓云々。行豊舞ヲ舞。自宿所參向云々。頗醉狂敷。其後大飲。猿樂乱舞云々。聞、室町殿〔義持〕八幡社參〔石清水〕。供奉人濟々。晴儀云々。

P011A/141603012

十二日。雨下。源宰相〔信俊〕退出。抑鳥羽院御拍子(笏拍子也)累代宝物也。源宰相〔信俊〕可被預下之由、就愚身〔貞成〕頻申之間執申入了。累代御物被出事、雖不可然、先可被預置也。御用之時可返進之由、可申請文之由被仰。相副御書被預遣了。仍捧請文了。

P011A/141603016

十六日。陰雨灑。勸修寺御比丘尼(常盤井宮〔常磐井宮・満仁〕息女)〔?〕御參。善侍者(山科教遠卿息女)被召具。一献御持參。御所様〔栄仁〕

P011B/141603016

御本復被賀申云々。

P011B/141603017

十七日。晴。御比丘尼〔勸修寺御比丘尼〕自御所〔栄仁〕御もてなし有盃酌。及酒盛御比丘尼〔勸修寺御比丘尼〕声明殊勝也。予〔貞成〕・三位〔経良〕朗詠。晚景被帰。

P011B/141603019

十九日。晴。郷秋參。有御樂。平調万歳樂・三台急・三洲〔甘州〕・春楊柳・五常樂急・太平樂急・林歌・朗詠(二首)等也。其後重有朝臣庭田へ同道罷出。庭前遅桜盛也。為賞

翫面々超引〔招引〕云々。景清参申。笛忘却取落之由申。御笛可申出之由申之間不審也。然而御笛被遣了。景清可参之由被仰。後聞、景清参虚言也。郷秋吹笛。仍如此申入云々。有興申様也。蘇合急・青海波・千秋楽等吹。聊雖有初心之所無子細笛也。郷秋非道之間隱密歟。

P011B/141603022

廿二日。晴。三位入道通光〔光仲〕一献持参。

P011B/141603023

廿三日。晴。正永参。仙洞〔後小松〕へ有被申事。永基被召之处不得隙云々。代官正永参。御所様〔荣仁〕御老病之間、

P012A/141603023

御一瞬以後事・御領等御安堵事被申也。重事之間可然無申次。仍以永基被申委細。被載御書被申之。聞、自今夜除日被行。執筆花山院大納言〔忠定〕云々。

P012A/141603024

廿四日。朝間雨降。正永退出。菊弟〔菊亭〕左府〔左大臣・公行〕以状申。来廿七日於仙洞可有兩席〔御遊。和歌〕御会云々。奉行吉田宰相〔家俊〕也。左府〔左大臣・公行〕兩席可祇候之由被仰下。雖故障申入、嚴密被仰下之間領状申云云。就其和歌席可祇候歟。為用意和歌兩三首被見之。前々も仙洞〔後小松〕へ先入見参。以勅点令治定。今度も可備上覽之間先令談合云々。」君のみや八百万代の春かけて 御牆の藤のさかりをもみん

千世までも君かかさしにさきにほへ 砌の松にかゝる藤波」 万代も君か見へき行末を 松に契りてにほふ藤波」

P012B/141603024

三首無子細歟。猶端歌宜歟之由申。荒涼意見比興也。

P012B/141603025

廿五日。晴。今夜仙洞御遊有御習礼。源宰相〔信俊〕参候。一献之砌ニ祇候。音曲大略尽数詠之云云。御所様〔荣仁〕も朗詠被遊云々。渡物以下終夜大飲之由聞之。抑手ク、ツ〔手傀儡〕参。猿楽仕。小童一人天骨者也。リウコ〔輪鼓〕ヲ舞ス。又師子〔獅子〕ヲ舞。又クセ舞〔曲舞〕を舞。種々施芸能。祿物種々賜之。捶等同賜之。見物雜人群参。芝殿并息女〔経良女〕・惣得庵主〔?〕・比丘尼達濟

々参。有一献。抑親ニ子カ一献ヲ奉ト云事アリ。御所様〔荣仁〕へ自新御所〔治仁〕一献申御沙汰也。及酒盛乱舞。地下輩御前〔荣仁〕祇候。今夜除目入眼也。任人無指事。

P012B/141603026

廿六日。霽。聞、西園寺右大将〔実永卿〕今夜拝賀云云。自菊弟〔菊亭〕前駟一人〔藤衡〕遣之云々。散状、殿上前駟実郷朝臣〔簾役〕・基時朝臣〔杳役〕・孝長、地下前駟富衡・友清・懐俊〔徳大寺遣之〕・久衡〔家司〕・藤衡

P013A/141603026

〔今出川遣之〕・親衡〔藤衡舍弟〕、隨身番長下毛野武延〔武藤子〕、近衛泰久増〔久遠猶子〕・泰延久〔延任入道猶子〕・泰兼世〔兼勝猶子〕・泰久豊〔久武猶子〕・泰延藤〔延秀猶子〕云々。

P013A/141603027

廿七日。雨降。仙洞兩席御会也。抑左府〔左大臣・公行〕有雜熱事不参、無念也。仍御遊無琵琶。園宰相〔基秀〕催馬楽不暗習云々。仍不預勅喚、無念之至歟。御遊晴儀無比巴〔琵琶〕事、上古三四ケ度有例、近来無其例云々。無和琴例者繁多也云々。呂安名尊・賀殿急〔三反残〕・美作、律万歳楽・三台急〔三反残〕・伊勢海。拍子洞院中納言〔満季〕、付歌綾小路前宰相〔信俊〕、笛〔号作蟬、私笛云々〕太炊御門〔大炊御門〕中納言〔信経〕、笙〔太子丸〕〔山科中将〕教有朝臣〔所作初度〕、箏築前左兵衛督〔兼邦〕、和琴〔寄波〕太炊御門〔大炊御門〕大納言〔宗氏〕、箏〔青海波〕御所作〔荣仁〕・裏辻地〔裏辻〕宰相中将〔実秀。器洲流〕。先御遊、次和歌云々。和歌人数可尋記。

P013A/141603028

廿八日。雨降。今夜庚申也。於新御所〔治仁〕御方守之。重有・長資等朝臣候。

P013B/141603030

晦日。晴。真珠院御比丘尼御所〔?〕入御。一兩日可有御座云々。有賽茶。御客人為賞翫也。三月尽有御歌。可為歌合衆議判也。但披講延引可為明日云々。題、落花・款冬・暮春・春恋・秋恋・旅泊、六首詠之。左方新御所〔治仁〕・為定卿女〔号芳徳庵〕〔二条為定女〕・綾小路三位〔経良〕・重有朝臣・正永、右方御製〔荣仁〕・予〔貞成〕・二位入道定



惠・長資朝臣・永基也。

P013B/141604001

四月一日。天晴。孟夏朔日。幸甚珍重祝着如例。昨日御歌有披講。予〔貞成〕・三位〔經良〕・重有朝臣・長資朝臣講之。衆議判、各申所存。或耳心、或無謂議勢区也。右方勝了。衆議判不足之間、飛鳥井中納言入道〔宗雅〕〔雅縁〕判事可被仰云々。其後十種香一獻等有之。

P013B/141604006

六日。晴。山躑躅盛之間為遊覽御出。新御所〔治仁〕・予〔貞成〕・三位〔經良〕・重有朝臣・長資朝臣・壽藏主〔仲寿〕等相伴。於松原芝居有一獻。壽藏主〔仲寿〕為奉行。是有勝負事、予〔貞成〕勝。為負態面々張行也。

P014A/141604009

九日。雨降。祖一勾当参。平家申初参也。

P014A/141604015

十五日。晴。於新御所〔治仁〕御方有樂。為稽古重日樂始之。長資朝臣候。平調樂七彈了。抑伝聞、今日南都有常樂会。可有去春之处于今延引也。寺務仏地院〔孝俊〕申沙汰云々。荒序所作事、地下伶人景房・景親・藤秋・氏秋等各所望申。或就權門申、或就理運申、用捨難儀之間、衆徒等談合被略荒序了。且先例モ荒序有被略事云々。当日舞法用。〕感城樂〔還城樂〕・延喜樂・入調・安摩・二舞・左右・皇帝・新鳥蘇・蘇合・進宿德・打毬樂・垣破・三洲〔甘州〕・林歌・陵王・落蹲。

P014A/141604016

十六日。法華会法用〔法要〕。央宮樂・綾切・入調・安摩・二舞・左右・団乱旋・退宿德・傾杯樂・敷手・北庭樂・八仙・散手・貴德・還城樂・納曾利。退出音声・長慶子。〕後日郷秋目錄持参。披見記之。

P014B/141604016

今日有御樂。盤涉調樂五。御所様〔榮仁〕御比巴〔琵琶〕被彈。

P014B/141604018

十八日。晴。椎野昨日入來。子カ親賞翫事申御沙汰。有盃酌。

P014B/141604019

十九日。晴。有御樂、双調樂七、妙音天御法

樂、重日樂等也。

P014B/141604020

廿日。天晴。伝聞、今日石清水臨時祭也。代始任先規被行之。未剋有庭座之儀。舞人退出。長階へ行幸御見物。各乘馬。御前〔称光〕二向一揖退出。《室町殿〔義持〕》内府〔内大臣〕祇候。被見物事儀嚴重云々。〕使千種宰相中將〔雅光〕、舞人《山科中將》教高朝臣・《中山中將》定親朝臣・《六条少將》有定朝臣・《世尊寺侍從》行豐・《坊城大内記》元長・《勸修寺》經直・《坊城》俊国・《粟田口》治長・《極臈》源持仲・《藏人將監》源重仲。〕加陪從、《今出川召進之》興衡朝臣・《西園寺進之》友清・《三条大納言〔公量〕進之》重統・《德大寺》懷俊・《花山院》敦憲・《德大寺》雅盛。〕庭座公卿、《室町殿〔義持〕》内大臣・《西園寺》右大將〔実永〕・広橋大納言〔兼宣〕・押小路大納言〔義嗣〕・冷泉大納言〔為尹〕・《三条》新大納言〔公量〕。

P015A/141604020

《三条》帥中納言〔公雅〕・左衛門督〔豐光〕・日野中納言〔有光〕・山科宰相〔教興〕・裏辻地〔裏辻〕宰相中將〔実秀〕。〕所役殿上人、《山科内蔵頭》教豐朝臣・《鷲尾中將》隆豐朝臣・《伯中將》資雅朝臣・《四条中將》隆盛朝臣・《坊城刑部大輔》長広・《四条少將》隆夏等也。〕今日入江殿今御所〔?〕・岡殿光臨。善覚坊御共参。岡殿一獻御持参。御所様〔榮仁〕御脳御本復被賀申御礼云々。有酒饌。予〔貞成〕、岡殿二初見参。長資朝臣一人候無人也。三位〔經良〕臨時祭見物二出京。

P015A/141604022

廿二日。晴。行豐参。臨時祭小忌装束、為入見参著〔著〕装束参。神妙也。目珍姿令悦目。殊更賜御盃。則退出。小忌之体、袍〔布地白〕。桐竹鳳凰絵二書、摺袴〔布。孔雀図を書〕。如屏風。裏地ノ色モ不見。ヒタト書如錦、袴括\*アリ。下ニ紅袴〔板引〕重又〔引陪木之上下也〕。左右股立ヨリ円緒之組、総角ノ様ニ結テ出之〔組ノ前ニ露アリ。水精也〕。左袖ノ上ニ赤紐アリ。下襲、半臂、引陪木如恒。裾〔蘇芳如恒〕、小忌之尻長ク、裾ノ上ニ重ナル。裾ヨリハ小忌ノ

P015B/141604022

尻狭シ〔布一ハタハリ也〕。劍平鞆〔螺鈿〕。

虎皮尻鞆)、紺地平緒、冠懸纓、挿頭花(桜)、沓(絲鞋)、扇如恒、已上如此。去大嘗会之時〔応永廿二年〕、長資朝臣着小忌参。其者表袴如恒。日影糸心ハ〔心葉〕アリ。是ハ日影糸心ハ〔心葉〕無之。向後為不審委細記之。

P015B/141604023

廿三日。晴。賀茂祭也。典侍(広橋大納言〔兼宣〕息女〔綱子])、近衛使伯少将(雅量)也。住心院深基法印参。一献持参(豪融僧正弟子。実ハ子息也。童形之時子云々)。有一献(新御所〔治仁〕。予〔貞成〕不見参。三位〔経良〕・重有・長資等朝臣、行豊候)。祖一参、一献之間平家申、数刻候退出。其後光台寺風爐〔風呂〕ニ入。此風爐〔風呂〕去年〔応永廿二年〕三木与一善康叛逆之時、為彼所行令焼失了。此間新造之間、自寺家〔光台寺〕風呂始ニ御所様〔栄仁〕奉入。新御所〔治仁〕・予〔貞成〕・椎野・三位〔経良〕・重有朝臣・長資朝臣・行豊・寿藏主〔仲寿〕等候。於方丈有一献。坊主老僧一兩人御前祇候。祖一平家申。一献之時宝泉召御前賜盃。此風呂為擅那〔檀那〕令建立之間、為御感被召。可謂面目敷。

P016A/141604024

廿四日。晴。祖一平家申。幡州〔播磨国〕方へ可罷下之由申。琵琶弦一具賜之。

P016A/141604025

廿五日。晴。聞、北野社ニ今夜有怪鳥。鳴声大竹ヲヒシクカ如云々。社頭モ鳴動ス。二またの杉ニ居テ鳴。参詣通夜人消肝云々。宮仕一人以弓射落了。其形頭ハ猫、身ハ鶏也。尾ハ如蛇。眼大ニ光アリ。希代怪鳥也。室町殿〔義持〕へ注進申。射之宮仕有御感。練貫一重・太刀一振被下。鳥ハ河ニ可流之由被仰云々。

P016A/141604026

廿六日。晴。御所様〔栄仁〕此間御耳ホ、メキテ不聞。昌耆有御尋。龜ヲ水ニ洗テ、アヲノケテ鏡ノ影ヲ令見之時小便ヲスヘシ。其シトヲ良薬ニ合テ御耳ニ可入之由申。良薬献之。仍宇治川之龜ヲ捕。如然鏡ヲ令見則小便ヲ出ス。医師如申也。嚴重事敷。

P016A/141604029

廿九日。晴。常樂会。花台(家牆橋等在之)宝泉進上被召置。殊勝也。

P016B/141605002

五月二日。晴。郷秋参。御楽。双調、鳥破・同〔鳥〕急・颯踏入破・賀殿急・朗詠(予〔貞成〕出之)・胡飲酒破・陵王破。御所作〔栄仁〕(御比巴〔琵琶])、新御所〔治仁〕(予〔貞成〕同〔琵琶])、長資朝臣、郷秋(笙)、三位〔経良〕打大鼓。聞、等持寺八講自今日始行。故鹿苑院殿\*〔義満〕追善也。毎年儀也。

P016B/141605003

三日。晴。伝聞、宇治橋有供養。導師西大寺長老〔円善英源〕。衆僧三千四十余人。南都北京近国律僧等参集云々。舞童三番天王寺伶人舞之。法会之儀嚴重也。見物喜賤〔貴賤〕都鄙群集云々。自是侍女兩三人見物ニ参。此橋者応永廿年被造替了。仍今日有供養之儀。今日有御連歌。就其あらかひの事あり。まのゝ入江〔真野の入江〕と云句に方田浦〔堅田浦〕ト付句アリ。就是婦こんことはかたゝ〔堅田〕に引網の目にもたまらぬ我涙哉。此歌新大納言成親卿詠之由、新御所〔治仁〕被仰。予〔貞成〕申云。平大納言時忠卿歌也ト申。新御所〔治仁〕ハ成親卿詠之由堅被仰。三位〔経良〕又申云。重衡朝臣関東下向之時詠敷之由存之云々。

P017A/141605003

三人堅諍論。所詮一瓶ニ懸てあらかふ。則可有負態之由申定了。重有朝臣平家歌共撰集双子一帖持参。御所様〔栄仁〕被遊之。平大納言時忠卿能登国配流之時於方田〔堅田〕浦詠之云々。予〔貞成〕忽勝了。新御所〔治仁〕・三品〔経良〕閉口。面々感嘆一咲無極。則御酒海兩人申沙汰有一献。予〔貞成〕近比高名也。椎野・正永等候。其外例人数也。

P017A/141605004

四日。雨降。続命纒。室町殿〔義持〕并若君〔義量〕被進之。常宗〔良賢〕取次入見参。若君〔義量〕付女房被進。御祝着之由有御返事。等持寺八講、今出川大納言〔実富〕出仕云々。

P017A/141605005

五日。晴。節供之儀如例。入風呂。其後有御連歌。抑伝聞、賀茂競馬見物輩於帰路(富小路辺)喧嘩出来。裏松家人与畠山家人互刃傷殺害云云。室町殿〔義持〕被聞食。裏松〔日野義資〕畠山〔満家〕有御突鼻云々。又今夜執柄〔関白・経嗣〕九条殿〔満教〕へ強盗入。

八条中将公興

P017B/141605005

朝臣一人防戰。數ヶ所手負云々。強盜一人討留。手負少々有之云々。公興朝臣為公家身高名之至云々。

P017B/141605006

六日。晴。御所様〔榮仁〕指月庵御出。当年初度也。須臾還御。郷秋參有御樂。黃鐘調、桃李花二帖・喜春樂序。同〔喜春樂〕破・河南浦・海青樂・朗詠・浮龍舟・鳥急。御所様〔榮仁〕〈鞞鼓〉、新御所〔治仁〕・予〔貞成〕〈比巴〔琵琶〕〉、三位〔經良〕〈大鼓〉、長資朝臣・郷秋〈笙〉。今日八講結願也。菊弟〔菊亭〕宰相中将〈公富〉出仕云々。

P017B/141605008

八日。大光明寺得都主參。点心料〈代〉持參。是明日有仏事。長老〔德祥正麟〕被拈香。御所様〔榮仁〕有御聽聞者可畏入之由申。得都主亡父卅三廻〔年忌〕追善執行。仍如此申云々。可有御聽聞之由被仰。賜御盃。若十袋賜之。抑右衛門佐師仲今朝死去云云。自去月有癩所勞〔病〕。諸医捨之。遂以墮命。不便無極。父三位入道〈通光〔光仲〕〉。悲歎不及謂。不便々々。〈極膿〕持仲當時室町殿〔義持〕御寵愛之時子也。仙洞〔後小松〕時宜

P018A/141605008

又同前歟。以三位〔經良〕被訪仰。

P018A/141605009

九日。雨降。早旦大光明寺拈香御聽聞二御所様〔榮仁〕御出。新御所〔治仁〕・椎野同御出。予〔貞成〕不參。侍臣等皆參。長老德祥和尚〔德祥正麟〕拈香也。三位〔經良〕就竹田御塔修理事出京。法安寺田段錢事、冷泉宰相入道〔高倉永行・常永〕有被仰旨。

P018A/141605017

十七日。霽。乾藏主〔周乾〕入來。一獻申御沙汰。御前之儀〔榮仁〕了。於陽明局又御張行。御所様〔榮仁〕入御。面々候。及酒盛公私酩酊了。

P018A/141605019

十九日。晴。他所被預置文書被召寄披見虫搨。累代御記等散々虫損無念也。有御樂。盤涉調樂七。人数如例。

P018A/141605020

廿日。晴。有重日樂。平調樂七。御所作〔榮仁〕〈鞞鼓〉。其外如例。

P018A/141605021

廿一日。晴。重有朝臣出京歸參。世事語之。春日社・日吉社有怪異云々。春日宝前辺穴俄出来〈一夜之間出来〉。穴底へ棹ヲ差入深事及二丈云々。

P018B/141605021

不思議之間社家注進云々。又日吉小五月神輿出御之時、鳩一羽飛來、神輿轅ニ飛當胸ヲ突テ則死云々。凡於日吉者鳩希有也云々。又鹿一頭死。条々注進申。八幡〔石清水〕にも有怪異。然而社務當時雖何事不注進云々。又北野天神衆生ニ相替有御惱云々。仍貴賤參詣。和歌連歌等万人令法樂云々。又自去春比、三井寺ニ湖上ヨリ御燈ヲ進ス如櫛戸。是天下寺家〔三井寺〕怪異也。先例有如此事之時、三井寺炎上了。諸社諸寺怪異共不思議〔不思議〕也云々。

P018B/141605022

廿二日。晴。九条〔滿教〕へ先日強盜推參事有御訪。右府〔右大臣・滿教〕被畏申。親家卿申次云々。三位〔經良〕為御使參。抑自禁裏白羊一疋行豐ニ被預置。而行豐又三位〔經良〕ニ預置。引之歸參入見參。初而羊見之有興。

P018B/141605024

廿四日。晴。有地藏講。御所様〔榮仁〕為御逆修御發願也。壽藏主〔仲壽〕為奉行。即成院善基房參勲〔參勤〕。

P019A/141605024

先於御前〔榮仁〕公私面々行齋食〔齋食〕。次講演始之。先吹平調調子。次万歳樂。登高座惣礼。次誦式。次三台急。次伽陀。次式。次ニ洲〔甘州〕。次伽陀式。次春楊柳。次伽陀式。次五常樂急。次伽陀式。次降樂。太平樂急。次回向伽陀。次林歌。事了。御所作〔榮仁〕〈鞞鼓〉、新御所〔治仁〕・予〔貞成〕〈比巴〔琵琶〕〉、三位〔經良〕〈大鼓〉、長資朝臣〈笙〉。僧衆無人。雖比興殊更被摸講演了。自今度男女被結番可有沙汰云々。

P019A/141605025

廿五日。晴。晚雨下。有御連歌。是聖廟〔北野社〕依御腦〔御惱・病〕世人法樂云々。仍

有御沙汰。面々為祈禱有各出事。一座人数。御所様〔榮仁〕・新御所〔治仁〕・予〔貞成〕・椎野・三位〔經良〕・重有朝臣・長資朝臣・善基房・沙弥行光等也。酉斜百韻了。善基初而被召加。涯分無相違口也。

P019A/141605027

廿七日。雨降。有重日樂。一越調樂七。其後依仰請取樂卜云事、新御所〔治仁〕・予〔貞成〕・長資朝臣、各替替請取之。樂青海波也。未練習之間、請取之時

P019B/141605027

拍子遅々比興也。可稽古事也。其後文書令虫扨。行成卿目錄櫃二彼卿〔行成〕真跡〔權跡〕一卷〔神鏡事依炎上可奉鑄直哉否事〔寛弘二年〕。諸道勘文公卿僉議定文也〕。伏見院有御輿書。殊重宝也。而虫損散々也。取出之入他櫃。

P019B/141605030

卅日。晴。豪融僧正參。御雜談移剋。椎野被婦寺〔椎野寺〕。

P019B/141606001

六月一日。晴。愛染王所作如例。護仏奉供養〔東寺教遍法印奉供養〕。抑伝聞、相国寺僧衆兵具令所持事不可然云々。為御檢知室町殿〔義持〕寺家〔相国寺〕入御。俄大般若經可被転読。大衆悉仏殿二可集会之由被触之間、大衆悉參集。然間其留守二以武士〔侍所敷〕寺中〔相国寺中〕寮々塔頭々々悉被檢知。兵具八十余求出之。所持之僧卅二人召捕被預侍所〔此内二人武衛〔斯波義淳〕申預云々。二人於侍所逐電云々〕、相殘廿八人可被遠流云々。此騒動根元喝食以金鞭打破僧頭云々。依之兵具不可持之由嚴密御沙汰云々。

P019B/141606002

二日。晴。有御樂。郷秋參。盤涉調樂七。来九日

P020A/141606002

於行藏庵可有講演。故明見庵主〔?〕遠忌廿五年〔年忌〕也。卅三年〔年忌〕引上仏事可執行云々。講演御所様〔榮仁〕面々可有結縁之由。寿藏主〔仲寿〕被申。仍為御習礼有樂。

P020A/141606003

三日。晴。御所近所〔号新堂〕、伝明僧寄宿談法花經〔法華經〕。男共聽聞。殊勝之由申

間、宝藏院塔頭へ被召之。比丘尼達構聽聞。密々御所様〔榮仁〕面々令聽聞談心經。次法花經〔法華經〕〔隨喜功德品。法師功德品〕、弁説無子細敷。但不委細云々。其後有樂。昨日樂蘇合序、琵琶兩人廢忘散々彈之。仍習礼郷秋候。

P020A/141606004

四日。晴。行豐・〔藏人〕重仲・〔藏人〕範量、宇治今伊勢參詣。帰路指月庵參。範量〔常宗〔良賢〕孫〕指月庵樂拜見所望云云。三品〔經良〕乘船張行云々。

P020A/141606006

六日。晴。勝阿一献持參。抑九日講演事、地下樂人指合云々。可為八日敷之由、源宰相〔信俊〕以狀申。仍八日二被引上。又有習礼。

P020A/141606007

七日。晴。祇園会如例。御内祭有盃酌。公私有張行事。

P020B/141606007

前源宰相〔信俊〕參。行藏〔行藏庵〕講演為奉行參。有習礼。盤涉調樂七、朗詠等有之。殘樂蘇合急〔新御所〔治仁〕〕、青海波〔予〔貞成〕殘〕為稽古也。

P020B/141606008

八日。微雨間々降。二時属晴。早旦行藏庵御出。御所様〔榮仁〕・新御所〔治仁〕・余〔貞成〕參。為聽聞。舜藏主〔惠舜〕・対御方〔三条実繼女〕・近衛〔近衛局〕・今參〔今參局・庭田幸子〕參。依詔引〔招引〕參。又惣得庵主〔?〕、比丘尼四五人、大教院隆經律師至局女女官聽聞二皆參。請僧永延寺住侶見邦〔式師〕、蓮穆・見通・見俊・見英〔伽陀衆〕參。樂人簾中〔御所作〔榮仁〕・新御所〔治仁〕・余〔貞成〕〕、綾小路前宰相〔信俊〕・綾小路三位〔經良〕・長資朝臣、地下景清・豊原郷秋・同〔豊原〕敦秋等參。無人数也。然而庵主〔行藏庵主・寿藏主〔仲寿〕〕為斗少々召之。先是点心僧衆行之。御所様〔榮仁〕以下内々食之。有三献。其後僧穴〔僧衆〕齊食了。講演行之。導場之儀。仏殿〔六間〕。南面三ヶ間〔撤明障子〕。奥〔北〕三間本尊安置〔東間尺迦〔釈迦〕。虚空像〔虚空藏〕。繪像。中央間尺迦〔釈迦〕。木像。地藏。加羅陀山〔伽羅陀山〕千体木像。此尊前備仏供燈明。前立机一脚。置火舎。礼盤。磬台等如恒。西間地藏〔繪像〕。此尊

像光明院法皇御影。地藏菩薩二奉写云々御居長也。

P021A/141606008

左脇明見庵主〔?〕立位牌。備靈供。西面二ヶ間〈端方〉。懸翠簾垂之為御座所。御簾前北南二折疊二帖敷之。其次南面疊二帖敷之〈東西行〉。堂上所作人為座。其次東面疊二帖。北南二折敷之為式師伽陀師座〈西疊式師着座。東疊伽陀師着座〉。東面二間。奧方〈北一間〉懸翠簾為聽聞所。其次廂一間〈落板敷南方〉。為地下樂人座。其相合〈北方〉屏風立隔為聽聞所。導場東〈對屋〉僧衆地下樂人為休所。時剋同上地下樂人着座。簾中同御座〈御簾垂之。新御所〔治仁〕・予〔貞成〕同候〉。御座後屏風立廻。侍女、惣得庵主〔?〕等候。先吹盤涉調々子。僧衆入導場着座。次宗明樂。式師〔見邦〕登高座。次惣礼伽陀。次誦式〈地藏講式〉。次蘇合序〈十二拍子〉。次伽陀〈調声見英〉。次式。次同三帖。次伽陀〈付物。笛源宰相〔信俊〕。笙郷秋〉。次式。次同破急〈三反。次第二止。笛源宰相〔信俊〕。笙長資朝臣。琵琶新御所〔治仁〕殘之〉。次伽陀〈付物笛景清。笙敦秋。琵琶御所作〔榮仁〕〉。次式。次万秋樂破。次伽陀〈笛景清。笙郷秋。琵琶新御所〔治仁〕付之〉。次式。次輪台。青海波〈三反殘樂。笛景清。笙郷秋。琵琶余〔貞成〕〉。次回向伽陀〈付物笛景清〉。

P021B/141606008

笙敦秋。琵琶御所作〔榮仁〕。次千秋樂〈三反。笛源宰相〔信俊〕。笙郷秋。琵琶御所作〔榮仁〕〉。樂初反之間、式師降高座。樂三反訖衆僧退下。次樂人退下。次入御。其後供御。公私食之。經良卿去春禁裏舞御覽之時、所作所望申。然而無勅許。仍笙大略廢置云々。無念事也。然間今日打大鼓。御所樣〔榮仁〕御惱以後御身不合期之間、御比巴〔琵琶〕時々被彈。鞆鼓被遊。椿一檢校參。當時有名望堪能者也。則於導場平家三句中。聽衆僧達以下濟々候。又有一獻。晚景事了還御。抑經良卿講演了急出京。長資朝臣禁裏小番二被入〈每月三度。九日・十九日・廿九日云々〉。御教書今朝到來。奉行広橋大納言〔兼宣〕也。為故障申俄出京。仍一獻之間不祇候。無念也。僧衆今夜逗留。景清・敦秋退出。郷秋候。講演殊勝。式伽陀声明殊勝也。聽衆群參。明日懺法御所望之由内々被仰之。

P021B/141606009

九日。晴。懺法事雖有御所望〔榮仁〕。寺家〔?〕可為煩敷。思食留之由被仰。然而僧達御樂有聽聞之志云云。

P022A/141606009

可有入御之由重寺家〔?〕申之間、已欲有出御之處、御持病風氣〔病〕俄更發。仍不出御。無念之至也。僧達も無念之由申云々。重有・長資等朝臣罷。点心之後平家聽聞云々。僧達入風呂歸寺〔?〕云々。御所樣〔榮仁〕御風氣〔病〕雖未散、可有樂御聽聞之由被仰。有樂。太食調、打球樂〔打毬樂〕・朝小子・太平樂・合歡塩・傾盃樂急・輪鼓・禪脫・拔頭・舞立、左喜春樂・賀殿・陵王破、右退宿德・長保樂・納曾利。笛源宰相〔信俊〕。笙長資朝臣・郷秋。琵琶新御所〔治仁〕・予〔貞成〕。大鼓、右時郷秋打之。鉦鼓長資朝臣。樂了三位〔經良〕帰參。長資朝臣小番事雖故障申、嚴密被仰下之間領狀申云々。入夜椿一檢校\*參。五句中。聽衆群參。

P022A/141606010

十日。晴。入夜大雨下如車軸。雷鳴。有御樂。盤涉調、採桑老〔樂拍子〕・万秋樂序・同〔万秋樂〕破・輪台・青海波・朗詠〔予〔貞成〕出之〕・竹林樂・次舞立・三台・皇仁・河南浦・八仙。笛源宰相〔信俊〕。笙長資朝臣・郷秋。琵琶新御所〔治仁〕。

P022B/141606010

余〔貞成〕。太鼓三位〔經良〕。鞆鼓御所作〔榮仁〕。鉦鼓長資朝臣也。晚景教仲參一獻持參。故朝仲入道奉公雖異于他。御領一變之後疎遠。教仲内裏奉公之間更不參。今朝八幡〔石清水〕參、其便路田向二来云云。以次參申敷。一獻之間椿一平家申。酒宴及深更。予〔貞成〕、教仲不對面。

P022B/141606011

十一日。晴。行藏庵明日有仏事。御經〔法華經〕〈寿量品〉加布施〈百疋〉被送遣了。明見庵主〔?〕奉公忠節不思食忘之間、為酬之被遣畢。寿藏主〔仲寿〕殊畏悅申。抑郷秋有所望事。此間祇候。源宰相〔信俊〕并三位〔經良〕執申。当所〔伏見〕加納芹河一村者、故国秋為御恩拜領也。而御堂〔長講堂〕御領轉變之剋得替了。其後当所〔伏見〕御安堵之剋、長広朝臣為御恩申賜了。郷秋就由緒連々雖敷申。長広奉公無故難被召返之間不可叶之處、此間切二以兩卿〔信俊、經良〕敷申之趣、御所樣〔榮仁〕御笙事、故国秋為御師範申沙

汰之間、系図ニ奉書入畢。且仙洞〔後小松〕此系図入見參了。

P023A/141606011

就其一曲未伝受之人釣系図事、為道有恐事也。蘇合四帖可授申入之由存之。為其俸禄一村可拝領之由懇望申。秘曲御伝受事、云御法体、云御老体、無益也。長広朝臣定可歎申歟。旁以難叶之由被仰。而源宰相〔信俊〕・三位〔経良〕、理不尽ニ固執申之間無力。今日被下安堵了〔女房奉書并奉行三位〔経良〕書下等賜之。一曲捧録〔俸禄〕ト被載之〕。殊畏申。」抑長広朝臣自今春不仕。過法違時宜折節之間、無左右被召返了。定奉公可停止歟之間、彌無人之基、且不便、旁愚存所歎思也。御所様〔栄仁〕御風氣〔病〕不快之間、於簾中可有楽御聴聞之由被仰。有御楽。一越調楽七、次舞立、左万歳楽・春庭楽、右古鳥蘇・新鞆鞆。源宰相〔信俊〕・三位〔経良〕・長資朝臣・郷秋等候。楽了。源宰相〔信俊〕一献申沙汰。御前之儀了。於台所又酒宴及乱舞。郷秋相交音楽渡物等令悦耳。

P023A/141606012

十二日。晴。行蔵庵仏事。大光明寺長老〔徳祥正麟〕以下寺庵

P023B/141606012

僧達八十余人招請云々。源宰相〔信俊〕退出。自菊弟〔菊亭・公行〕就予〔貞成〕事、以源宰相〔信俊〕御所様〔栄仁〕有申入子細、料所事也。御返事被仰。

P023B/141606013

十三日。晴。御所様〔栄仁〕御腰痛〔病〕、御心神違例〔病〕有御温気。若近日流普三日病歟。医師同阿參。御風冷之由申。良薬可調進之由申退出。自椎野絵二卷借賜。一口物語也。以外古物殊勝絵也。後聞、大覚寺殿〔大覚寺僧正義昭〕御絵云々。宝蔵絵部類也。長広朝臣一村被召放歎申、尤道理也。替地被下之由被宥仰。

P023B/141606014

十四日。陰。祇園会如例。無内祭之儀。御違例〔病〕同御体也。同阿良薬献之。加減人參湯也。

P023B/141606016

十六日。雨灑。日野一位入道〔資教〕為納涼来臨。兼日三位〔経良〕令約束云々。惣得庵

宿ニ借点心等令用意云々。其後河上乘船。人数一位入道〔資教〕・《日野》大納言入道〔資国〕・有光卿・《山科》教遠卿・《四辻》季保朝臣・《柳原》行光・《日野》盛光・《日野》量光・《冷泉》永宣・酒正頭〔名字不知〕〔中原師世〕等也。三位〔経良〕・重有朝臣・

P024A/141606016

長資朝臣・行豊相伴。抑於指月〔指月庵〕前釣魚。仍大光明寺僧達行向、殺生禁断之内不可然之由雖令制禁处、耳外不聞入。僧達腹立、御所〔伏見宮〕へ參申。為上可被仰之由申。長老〔徳祥和尚〔徳祥正麟〕〕又追々被參。以外陸梁。殺生禁断在所破禁法之条、奉行〔三位〔経良〕〕・政所〔禅啓〕所行也。無御罪科者忽\*寺家〔大光明寺〕追して公方〔義持〕へ可訴申之由以誓言被申。仍以奉書船中へ被仰之間止釣。客人無興罷帰云々。長老〔徳祥正麟〕陸梁不休之間、奉行〔三位〔経良〕〕・政所〔禅啓〕等暫可止出仕之由被仰了。不慮之儀珍事也。夜椿一參、平家申。茶十袋五明等賜之。明日退出云云。

P024A/141606017

十七日。晴。早旦長老〔徳祥和尚〔徳祥正麟〕〕以衣鉢侍者罪科事猶嚴密被申之間、三位〔経良〕当所〔伏見〕奉行職事被改替。先未補ニテ被置之由被仰。禅啓政所職同被改之由被仰之。源宰相〔信俊〕又參。新御所〔治仁〕御琵琶御灌頂事遅々、無勿体之由〔菊弟〔菊亭〕〕左府〔左大臣・公行〕被申云々。

P024B/141606019

十九日。晴。医師同阿參。御脈〔栄仁〕御減気之由申珍重也。正永參。長資朝臣禁裏小番參初參也。此小番事、自室町殿〔義持〕嚴密被申沙汰。其故者主上〔称光〕武勇有御好。太刀・刀・弓箭等翫御。背時宜〔称光〕者近臣・官女・下賤輩までも、以金鞭有御打擲。以弓被遊之。御形儀墮人口々。仍自室町殿〔義持〕仙洞〔後小松〕へ被申。又広橋大納言〔兼宣〕・日野中納言〔有光〕・裏松中納言〔義資〕為御使。直雖被諫申更不被聞食入之間、大番小番之衆可奉守護之由被仰云々。近日世口遊此事也。抑三位〔経良〕御突鼻事歎申。源宰相〔信俊〕・寿蔵主〔仲寿〕等為仲人長老〔徳祥正麟〕ニ執申間、所詮向後固守株。加制禁者御免不可有子細之由被申之間御免落居了。珍重也。

P024B/141606020

廿日。陰。長資朝臣婦參。禁裏小番相手〈四  
条中納言〉隆直卿・嗣高朝臣・長広朝臣云々。  
伝聞、今日相国寺人供・行者・下部等百四五  
十人、侍所〈一色〔義貫〕〉召捕云云。是僧  
達濫行魚食等不義事共為被糺明也。

P025A/141606020

人供・下部被噉問〔拷問〕。就白狀僧四五人  
又被召捕。寺家〔相国寺〕周章不能是非云々。

P025A/141606021

廿一日。雨下雷鳴。源宰相〔信俊〕退出。重  
日有樂。平調樂七。抑予〔貞成〕比巴〔琵琶〕  
不所持之間、一面可被下之由御兼約也。仍今  
日被下。号仙家〈自仙洞〔後小松〕八朔御返  
被進之比巴〔琵琶〕也〉。此間彈器者〈号白  
玉〉菊弟〔菊亭〕居住之時ヨリ多年手訓了。  
左府〔左大臣・公行〕灌頂之時本枕二被進了。  
不相替彈之。音声不足也。仙家も同品也。但  
聊有責力之間、此器申賜了。抑政所〈禪啓〕  
御免之事、長老〔德祥正麟〕以衣鉢侍者、於  
于今可有御免之由被執申。如此被申之上者不  
可有子細。則御免了。禪啓參畏申。

P025A/141606023

廿三日。陰。長老〔德祥正麟〕參、彼間事御  
礼被申。無御對面。相国寺騷動事、行者・人  
供等悉被免歸寺〔相国寺〕。就白狀召捕四五  
人之僧ハ重科之間可被遠流云々。以前廿八人  
召捕僧ハ流罪被免云々。先落居分也。悦喜之  
由長老〔德祥正麟〕被申。

P025B/141606024

廿四日。晴。源宰相〔信俊〕參。長階局有被  
仰事、其御返事為申參。此事御所樣〔榮仁〕  
御老病之間始終御領等御安堵事、去春以永基  
仙洞〔後小松〕へ被申了。然而無御返事。就  
是有御思案。御笛〈号柯亭〕天下名物至極重  
宝也。自崇光院御相伝、年来雖有御秘藏、仙  
洞〔後小松〕へ被進之。御安堵事可被申敷否、  
人々被尋仰、意見区也。如此重宝被進之者、  
御安堵定不可有子細敷之由申、意見多之間治  
定了。就其左府〔左大臣・公行〕為御使仙洞  
〔後小松〕へ可被持參之由、以源宰相〔信俊〕  
御談合之處、難治之由被故障申。仍勾当内侍  
〔勾当局・藤原能子〕二被仰之處、無子細有  
領狀。以御書被進之。委細事ハ勾当〔勾当局  
・能子〕可披露之由被仰。四絃道事、始終斷  
絶無念之間、秘曲事兩御方〈新御所〔治仁〕  
・予〔貞成〕〉可被授置之由御書二被載之。

予〔貞成〕為不堪之身、達天聰之条一喜一懼。  
彌雖有稽古之志、天性不堪無力事也。名器多  
年御秘藏之處、可成他物之条、云無念、云余  
波、旁以催悲淚者也。

P026A/141606024

且名殘惜二源宰相〔信俊〕二被吹。五常樂急  
・太平樂急等吹之。御聽聞公私落淚了。願以  
妙音天冥慮再會。心中祈念而已。源宰相〔信  
俊〕御器御書等賜之退出。明日長階局可持參  
之由申。

P026A/141606025

廿五日。晴。自今日三ケ日予〔貞成〕有別行  
事。泊瀬〔長谷寺〕・清水〔清水寺〕奉礼拜  
祈念。彼御安堵無子細之樣立願申。

P026A/141606026

廿六日。晴。炎暑如蒸。御納涼御前船二五色  
等被入有盃酌。對御方・重有朝臣申沙汰也。  
可為順事之由被定。例人数壽藏主〔仲壽〕等  
候。抑名笛昨日仙洞〔後小松〕へ勾当〔勾当  
局・藤原能子〕被入見參。委細被披露申。此  
笛年来被聞食及床敷被思食之處、被進之条御  
悦喜無極。何之御方へも不被讓与申。被進置  
之条殊以御本意之由被仰。時宜〔後小松〕快  
然之間、則御安堵事并愚身事〔貞成〕等委細  
被申之間、種々懇懇有仰事。近日御返事可被  
申之由、勾当〔勾当局・能子〕以狀申。源宰  
相〔信俊〕此趣以狀申入之間、先以珍重也。  
祈念最中御左右無子細之条、併冥慮有憑々々。

P026B/141606026

抑新御所〔治仁〕〈琵琶〕御灌頂事、左府  
〔左大臣・公行〕・源宰相〔信俊〕等依申沙  
汰有御治定。日次事安陪〔安倍〕朝臣守經内  
々被尋仰之處、七月廿四日吉日之由申。在弘  
朝臣此御所〔伏見宮〕雖為管領、御所樣〔榮  
仁〕御灌頂之時守經勘進了。任先例被仰菊弟  
〔菊亭〕家門、守經管領之間、左府〔左大臣  
・公行〕被仰勘文、今日被執進之。

P026B/141606027

廿七日。晴。三ケ日宿願今日結願了。修中御  
左右到来。時宜〔後小松〕快然之条、所願成  
就就隨喜無極。先日船納涼順事、三位〔經良〕  
申沙汰。泉水添涼氣、酒海催興遊者也。例人  
数候。榮侍者折節參候。又於殿上有雲脚順事。

P026B/141606028

廿八日。晴。順事予〔貞成〕申沙汰。壽藏主

〔仲寿〕為奉行。大光明寺客僧有物語上手云々。自長老〔德祥正麟〕被拳申之間被召之。酒宴御肴語之。凡弁説吐玉、言詞散花、聽衆感歎斷腸。相当頭役一座有其興、令自愛。醫師同阿參、物語聽聞。入興即退出。

P026B/141606030

卅日。晴。前宰相〔信俊〕參。仙洞〔後小松〕御返事持參。名笛事

P027A/141606030

委細被申。御悅喜無申斗。隨而御安堵事不可有子細云々。室町院〔室町女院・暉子内親王〕御遺領可被注進之。可被載院宣云々。時宜〔後小松〕快然之条併冥慮之至珍重也。將亦四絃秘曲事同被申。予〔貞成〕事同被載勅書、眉目之至也。室町院領〔室町女院暉子内親王領〕事目錄被取整、勝阿才學之間被召之。今夜六月祓也。入風呂。源宰相〔信俊〕祇候、輪役勤仕〔勤仕〕之。

P027A/141607001

七月一日。天晴。立秋孟律、吉兆幸甚々々。勝阿參。室町院領〔室町女院暉子内親王領〕目錄等事被仰談。御当知行目錄等取整明日可被進之云々。抑晚景人々告申云。昼程仙洞〔東洞院日野一位禪門〔資教〕私宅也。御脱履〔脱二〕以後被成皇居了〕燒失云云。実説猶不審之處、人々告申。大略一同之説実事也。驚歎無極。源宰相〔信俊〕・三位〔経良〕、雖及夜陰則出京仙洞へ馳參。且以御使被驚申。曉三位〔経良〕帰參。仙洞〔後小松〕三宝院有御座。以永宣申入之處、早速御使被悅思食御。仰天不及是非得其意可申云々。語云、申初点火自正親町烏丸燒出

P027B/141607001

〔浄花院之脇云々。於浄花院者無為也〕。先裏築地〔裏辻〕宰相中將〔実秀〕宿所、次万里小路前中納言〔豊房〕并頭弁〔時房朝臣〕、次仙洞炎上。此外烏丸藥師堂・土蔵・在家等及十二町燒亡云云。内裏門〔四足〕火炎付之間打消了。紫宸殿二も火既欲付。室町殿兄弟〔義持・義嗣〕被馳參。他所へ可有行幸之由被申。雖差\*腰輿不可有行幸之由有勅定。御刀帶之。以金鞭御座之間、室町殿〔義持〕諸大名被下知。數百人御殿二昇。以太刀・刀火付所切落打消之間屬無為了。若早速有行幸者可炎上之条勿論也。叡慮〔称光〕以勇力御座之間、万人勑力打消了。併御勇氣之御高名也云々。仙洞御器御具足等大略被出了。彼名笛

無為云云殊珍重也。万里小路・裏築地〔裏辻〕等、重書具足一而不殘悉燒失云々。併天魔所為勿論也。後聞、隨身下毛野武遠宿所より火出。武遠者留守之間下部出火云々。仍下部則逐電了。彼御文書明日可被進之處、折節障碍不運之至也。

P028A/141607003

三日。晴。順事壽藏主〔仲寿〕被申沙汰。先日物語僧又被召語之。山名奥州〔陸奥守・氏清〕謀反事〔明德の乱〕一部語之。有其興。大光明寺以僧兩使、山田宮木切事不可然社人二嚴密可被仰之由被申。為神事切之年来事也。然此社〔山田宮〕号大光明寺敷地之内被支申。然而社家〔山田宮〕之地也。文書支証在之。其子細被仰。抑此間宇治川蒲生中二有白蛇云々。於指月〔指月庵〕前童部等見之云々。下説難信用者也。

P028A/141607004

四日。晴。自寺〔大光明寺〕以繼首座、山田宮事寺家〔大光明寺〕文書被入見參。社人等申旨以三位〔経良〕被仰。社家〔山田宮〕道理聊被聞披歎。

P028A/141607005

五日。晴。重有朝臣出京帰參語云、仙洞事自室町殿〔義持〕以広橋大納言〔兼宣〕被申。皇居可然無在所。但勸修寺經興亭〔小河〔小川亭〕〕相叶先例歎〔後円融院有御座〕。可有御座之由被申。勅答小河亭〔小川亭〕事有被思食子細不可叶。暫三宝院可有御座云々。内々時宜〔後小松〕之趣者、

P028B/141607005

新造廳不被申沙汰御逆麟云々。此旨室町殿〔義持〕二令申之間、於新造者靜可申沙汰、其間御在所也。三宝院不斷護摩勸行〔勤行〕之所、魚食不浄等有其憚。争暫可有御座哉。此趣重又被申之間、新造出来之間、小川亭不可有子細。可有御座之由被仰。仍彼亭〔小川亭〕破損之間忽加修理云云。新造事始日時事、陰陽頭泰家朝臣可為来十三日之由勘進申。諸大名国々段錢事被仰。但可遲引歎之間、守護一國万疋ツ、可致沙汰之由被仰。門築地者、管領〔細川満元〕申沙汰。地引事諸大名侍所〔一色〔義貫〕〕被仰付云々。被成四丁町了。仍万里小路中納言〔豊房〕・頭弁時房朝臣屋敷等被召上。年内有造畢之樣可急之由被仰云々。



P028B/141607006

六日。晴。仙洞〔後小松〕へ火事猶々驚入之由以御書被申。將又御安堵事、折節御斟酌追可申入之由付勾当〔勾当局・藤原能子〕被申了。

P028B/141607007

七日。陰。朝雨灑。七夕為御法樂。草花人々被召集。

P029A/141607007

仍早旦人々献之。座敷聊被饒。屏風立廻本尊唐絵懸之。其前チカキ棚一脚立之。種々唐物共置之。花瓶盆等数十瓶置之。委細記別紙。花所進人々。新御所〔治仁〕・余〔貞成〕・綾小路三位〔経良〕・重有朝臣・長資朝臣・大光明寺僧達・指月〔指月庵〕坊主・藏光庵・行藏庵・退藏庵・淨隱庵・即成院・光台寺・玄忠・禅啓・有善・宝泉・北藏等献之。廿六瓶出来。鋸具足唐物等宝泉悉進之。僧俗参拝見申。節供如例。其後入風呂。抑順事、近衛局申沙汰。物語僧被召、種々狂言申。先有御樂、盤涉調樂殊更三、朗詠等有之。予〔貞成〕聊事損之間、御樂不候、無念也。

P029A/141607008

八日。朝大雨降。後聞、大雨最中相国寺鎮守八幡宮宝前辺、自天小蛇一筋降下。童部打擲之打殺云々。近江国ニも此日龍降下云々。希代不思儀〔不思議〕事也。

P029B/141607009

九日。晴。自仙洞〔後小松〕先日御返事被進。彼名器無為之間殊以御悦喜之由被申。珍重也。

P029B/141607010

十日。晴。長老〔徳祥正麟〕参。山田宮木切事、文書等持参。猶難儀之由被申。無理之至也。先被閣是非了。

P029B/141607012

十二日。晴。昼夕立降。菊弟〔菊亭〕宰相中将〔公富〕燈爐〔灯籠?〕一賜之。毎年之芳志也。椎野被所望仍進了。長広朝臣門前まで参。一村事歎申。以重有朝臣種々述懐申道理。旁以不便也。替地被下之由被宥仰。可有御対面之由雖被仰、称有急事不入門内退出了。

P029B/141607013

十三日。晴。仙洞今日事始也。作所奉行富樫兵部大輔〔満成〕也。御所之跡〔仙洞御所〕、

管領〔細川満元〕・侍所〔一色義貫〕等数百人令掃除尘々。医師同阿参。

P029B/141607015

十五日。晴。盂蘭盆如例。蓮供御祝着如恒規。寺〔大光明寺〕施餓鬼御所様〔栄仁〕御聴聞。新御所〔治仁〕・予〔貞成〕不参。夜石井・船津念仏拍物密々令見物。

P030A/141607016

十六日。晴。伝聞、山城国桂里ニ辻堂之石地藏、去四日、有奇得不思議〔不思議〕事。其子細者阿波国ニ有賤男〔阿波男〕、或時小法師一人来云様、我住所草庵破壊雨露もたまらず、仍可造作之由思也。来て仕るへし。可憑之由申。此男〔阿波男〕云様、身貧ニして渡世難治也。妻子を捨て他所へ罷事不可叶之由申。小法師重申様可致扶持也。只可来之由申。則同道して行。阿波国より山城へハ三日路也。然片時之間行着ヌ。破損辻堂ニ石地藏アリ。造作スル人モナシ。小法師モ打失ヌ。近辺之人ニ相尋ヌレハ、山城桂里ト答。此男〔阿波男〕思様、サテハ地藏是マテ同道シテオハシケルト、貴ク覚ヘテ居タリケレトモ、智人モナシ。加様ニテハ如何ト思テ京へ上ラントシケルニ、アリツル小法師来云様、何方へモ不可行。只爰ニ可居住之由申又失ヌ。サテ堂ニ居タリケル程ニ、西岡ニ住スル男〔西岡男〕  
〈竹〔竹商人〕

P030B/141607016

商人云々)、日来此堂破壊シヌル事ヲ心中ニ痛敷思ケリ。件堂ニ休息之間、彼阿波男ト寄合テ雑談スル程ニ、此事最初ヨリ次第ヲ語テ、地藏ノ奇得〔奇特〕不思議〔不思議〕ヲ語。サテ御堂造営諸共ニテチタヘモシ給ヘト云ケレハ、西岡男スチナキ事云イタカ也トテ散々ニ云合程ニ、イサカヒアカリテ刀ヲ抜テ阿波男ヲ突ントス。彼男〔阿波男〕逃ノキヌ。去程ニ西岡男心狂乱シテ、彼石地藏ヲ切突ケルホトニ、忽腰居テ物狂ニ成ケリ。近辺物共集テ見之。地藏之御罰新ナル事ヲ貴ミケリ。サテ狂気男〔西岡男〕、暫シテ心神取直シテ地藏ニオコタリ申。此御堂造営シテ宮仕申ヘキ由祈念シケルホトニ、則腰モ起、狂気モ醒ケリ。サテ入道セントシケルニ、地藏夢ニ見ヘテ法師ニ成ヘカラストノ給ケレハ、男ニテ浄衣ヲ着テ宮仕ケリ。地藏奉斬突腰刀散々ニユカミチ、ミタリケリ。

P031A/141607016

御堂ニ懸テ参詣人ニ拝セケリ。サテ阿波男ヲハ法師ニナルヘキ由、地蔵被示ケレハ、入道シテ彼男〔西岡男〕ト二人御堂造營奉行シケリ。此事世ニ披露アリテ、貴賤参詣群集シケル程ニ、錢以下種々物共奉加如山積テ、造營無程功成ケリ。祈精〔祈請敷〕則成就シ、殊病者盲目ナト忽眼モ開ケレハ、利生掲焉ナル事都鄙ニ聞ヘテ、貴賤参詣幾千万ト云事ナシ。種々風流之拍物ヲシテ参ス。都鄙經營近日只此事也。伝説雖難信用、多聞之説記之。且比興也。

P031A/141607017

十七日。晴。仙洞〔後小松〕小河亭〔小川亭〕今夜有御移住御幸。供奉殿上人六人、下北面十人云々。室町殿〔義持〕被参会。仙洞造畢之間、白地御座云々。抑自菊弟〔菊亭〕以状告申。南向〔左府〔左大臣・公行〕母儀〕去十二日西谷〔故入道左府〔左大臣・公直〕暮所〔墓所〕〕、焼香ニ参。帰之後有痢病之氣。自昨日興盛以外也。老体無憑之由申。驚歎無極。

P031A/141607018

十八日。晴。菊弟〔菊亭〕へ遣使者。南向事尋之處以外也。

P031B/141607018

夜前既欲事切水ヲ進之處又息出云々。医師頼直朝臣近明之間不可過之由申云々。不便無極。今一度不可向顔之条殊遺恨也。抑新御所〔治仁〕御灌頂、来廿四日必定之間、。七ヶ日可有御樂云々。自今日始之。妙音天像〔累代本尊〕奉懸有法樂。平調樂五、殊更有之。妙一勾当参平家申。

P031B/141607019

十九日。晴。三位入道通光〔光仲〕参。源宰相〔信俊〕参。御灌頂事為奉行也。有御樂。盤涉調樂兩三。源宰相〔信俊〕・三位〔経良〕等候。妙一又参平家申。源宰相〔信俊〕一献申沙汰。

P031B/141607020

廿日。晴。入江殿今御所光臨有被申事。真修院〔三条局・源有泰女力〕〔今御所〔入江殿今御所〕御母〕病氣、老体之間無憑。就其崇光院被下御恩地事。為一期領主之間、始終不相替可被閣云々。御比丘尼御所〔真乘院御比丘尼御所〕ニ讓与申度之由被申。此事難儀之間無左右御返事難被申。追可申之由被申。則

有御帰。抑南向事相尋之處、今日

P032A/141607020

午剋逝去〔死〕云々。雖存内事当于時迷惑悲嘆無極。余〔貞成〕自幼稚卅余年被養育了。離別之後至于今無等閑。所存異于他。多年之芳恩不能報謝。殊予〔貞成〕首服之後不向顔。旁以哀歎無極。今夜御樂双調七、次黄鐘調三有之。源宰相〔信俊〕・長資朝臣候。予〔貞成〕暫御樂祇候雖斟酌。於仏前御法樂之上、於身可極奧秘有執心之間、併為道之冥伽、以別儀御樂ニ相交。哀傷折節似無所思。然而無力次第也。

P032A/141607021

廿一日。晴。御樂。太食調五。御所作〔栄仁〕〔鞆鼓〕。前宰相〔信俊〕。三位〔経良〕。長資朝臣候。樂了入風呂。予〔貞成〕自今日精進。南向為訪令看經。南禅寺阿栄蔵主光臨〔崇光院宮〕。久無御入。珍敷来臨。

P032A/141607022

廿二日。雨降。園宰相〔基秀〕参。去比仙洞〔後小松〕園〔基秀〕琵琶事未練之間、此御所〔栄仁〕為御弟子之上ハ可有御扶持。秘曲等可被授下〔伝授〕之由、以勾当局〔藤原能子〕被申。勅定旨以前宰相〔信俊〕園〔基秀〕ニ被仰之間畏申。

P032B/141607022

仍参有御対面。琵琶有御聴聞。平調樂三、次渡物青海波弾之。催馬樂未伝受之由申間、呂律一両被授下〔伝授〕。其後有御樂。盤涉調、採桑老・蘇合三帖・同〔蘇合〕破急・万秋樂破・白柱・朗詠〔源宰相〔信俊〕出之。予〔貞成〕・長資朝臣不助音〕・輪台・青海波・千秋樂。御所作〔大鼓。朗詠之時付物御比巴〔琵琶〕〕、新御所〔治仁〕・予〔貞成〕・園宰相〔基秀〕〔比巴〔琵琶〕〕、笛源宰相〔信俊〕、笙長資朝臣等也。三位〔経良〕称腹痛〔病〕不参。予〔貞成〕琵琶、園〔基秀〕始而聴聞。心中雖恥入、未練之所作自他同物敷。重有朝臣、左府〔左大臣・公行〕悲歎事被訪仰。為御使罷出。

P032B/141607023

廿三日。陰。雨時々降。源宰相〔信俊〕・三位〔経良〕・長資朝臣・寿蔵主〔仲寿〕等、弘暁桂地蔵参詣下向。語云地蔵尊顔疵如聞奉拜見。此疵次第愈合云々。奇得〔奇特〕不思議〔不思議〕也。重有朝臣帰参。夜前菊弟

〔菊亭〕罷向之處留守也。於〈東山〉宝幢寺令茶毘。左府〔左大臣・公行〕・大納言〔実富〕・宰相中将〔公富〕・女中家僕等悉罷向云々。慈雲院比丘尼達・相国寺僧達、其外比丘尼々衆等濟々渡。諷經二罷云々。及深更帰宅時分行向令申。左府〔左大臣・公行〕

P033A/141607023

不対面。次興衡朝臣重徳等謁委細申。病中閉眼〔死〕までも、愚身〔貞成〕今一度不向顔忘念之由申云々。多年無等閑心中露顯。哀傷不少。閉眼〔死〕之時分成比丘尼云々。平生者念仏者也。今夜御楽、一越調七、朗詠等有之。郷秋御楽之間可祇候之由被仰。称違例〔病〕不参。一村〔芹河村〕拝領之時細々可奉公之由申入了。而不応召之条奇怪也。

P033A/141607024

廿四日。陰晴不定。間々雨降。及晚属晴。有地藏講。善基参勤〔参勤〕如例。無楽。講式了於御前〔栄仁〕面々齋食〔齋食〕。是被結番人数九人也。各申沙汰。予〔貞成〕今日頭人数也。正永参。抑今夜有御灌頂之儀、堅固内々每事略儀也。奉行長資朝臣〈布衣〉、役送重有朝臣〈布衣〉・前宰相〔信俊〕〈布衣〉、雖非役人別而依申沙汰着裝束神妙也。」早旦拵導場。客殿南面〈二間〉。懸御簾〈卷之〉。西面〈二間〉。懸御簾〈垂之〉。南面大床立高燈台二本〈東西柱際〉。供掌燈。奥間〈北〉副障子立屏風一双。

P033B/141607024

奉懸妙音天像〈西園寺二伝像〉前立机一脚備仏供香花。左右供掌燈。東逼長押〈中央〉敷大文畳一帖〈南北行〉。其上敷氈一枚ニ草座〈本儀雖可用龍鬢。依略儀敷氈。依為御法体敷草座且先例也〉。為師範御座。西逼長押〈倚南長押〉敷小文畳一帖〈南北行〉。其上敷東京茵一帖為受者座。本尊前敷氈一枚為拜席〈抑御拜之儀拜席各別敷之。師範受者一同雖可有御拜。座敷狭少之間、師範御拜之後、其座ニ相替テ受者可有御拜云云。此儀非本式臨時之儀也〉。先是晚頭有管弦。高麗曲・退走徳・崑崙破・同〔崑崙〕急・納曾利・新靺鞨・長保楽破・同〔長保楽〕急・朗詠〈徳是、予〔貞成〕出之〉。笛源宰相〔信俊〕、琵琶新御所〔治仁〕・余〔貞成〕、大鼓三位〔経良〕、三鼓御所作〔栄仁〕、鉦鼓長資朝臣也。剋限召御装束〈御付衣香袈裟正永刷\*之〉。受者御狩衣。指貫〈薄色烏多須幾〔烏襷〕〉。本儀者雖可為御直衣。略儀也。但師範御灌頂

之時御狩衣云々。先例也。時剋重有朝臣置師範之御琵琶唐。次長資朝臣置受者之琵琶〈卯花〉。次師範御出座。次以奉行長資朝臣召受者。受者着座。次長資朝臣日時勘文〈入ニ蓋〔宮蓋〕〉持参。師範覽之。次受者披見

P034A/141607024

〔兼日安陪〔安倍〕朝臣守経勘進申〕。次召長資朝臣。御所中人々遠可退之由被仰。面々遠退。対御方一人近所祇候〈自然為御用祇候。是先例也〉。予〔貞成〕近衛局ニ行〈左府〔左大臣・公行〕灌頂時行此局〔近衛局〕。且先例也〉。前宰相〔信俊〕・三位〔経良〕・重有・長資等朝臣、正永同祇候。聊有一献。御伝受之儀畢被進御奥書。次召長資朝臣法枕琵琶〈仙家此器予〔貞成〕琵琶也。先被借渡〉持参。受者取之置師範之御前。次本役人撤御琵琶。次入御。次受者退下。次有一献。公私不改装束。御祝着三献之時被献御引物〈胡銅花瓶。香盤〉。其後及数献音楽雜芸等有之。深更事訖。雖内々儀每事無為珍重也。

P034A/141607025

廿五日。晴。勘解由小路右衛門督入道〔斯波義重〕并子息左衛門佐〔義淳〕〈前管領〉・甲斐〔祐徳〕・緒田以下数輩当所ニ来。為納涼云々。宝泉坊ニ寄宿。一献引物等種々遣之。還礼又種々賜之云々。後日御所様〔栄仁〕以勝阿御礼被仰之。

P034A/141607026

廿六日。晴。源宰相〔信俊〕。正永退出。於新御所〔治仁〕御方源〔源宰相・信俊〕

P034B/141607026

宰相ニ賜御盃。御灌頂無為申沙汰被感仰。今日南向初七日〔忌〕也。精進看經更催哀動〔哀慟〕。抑伝説記録雖比興、風聞巷説記之。去比京下方辺米有沽却者。件家ニ男一人来テ米ヲ買ヘシトテ、器物升〈マス〉ト云物ヲ預置。取ニ来ランマテ、此升ヲ持上ヘカラスト云テ、ウツフケ置テ男帰了。其後待トモ不来。翌日モ不来。不審之間升ヲ持上テ見之処、小蛇蟠リテアリ。奇異ノ思ヲ成之処、此小蛇即時ニ大ニ成ヌ。サテ家主ノ娘十六七許ナル容顔好カリケル女ヲ蛇卷取テ、家内ヲ通テウチ失ヌ。父母仰天叫喚スレトモ行方不知云々。又或説。京下方ニ住男、宇治今伊勢へ参詣シケルニ、社頭辺白蛇アリ。此男扇ヲ開テ、若宇伽〔宇賀神〕ナラハ此扇へ来ルヘシト云ケルニ、此蛇扇ノ上ヘハイノホリケレハ、

悦テ裏以テ下向シケリ。サテ家ノ乾ノ角ニ安置シケリ。而不慮ノ

P035A/141607026

外ニ物出来テ、人モ物ヲ借シ賜ナトシテ心安ク成ケレハ、宇伽神〔宇賀神〕ナリトテ仏供ヲ備テ貴敬シケリ。去程ニ此白蛇追日大ニ成ケリ。次第ニ成長シケレハ、畏\*恐テ此蛇ヲ取捨ント男シケルヲ、妻カ云様、宇伽神〔宇賀神〕ニテアラハ取捨ヘキヤウヤアルト云ケレハ、ケニモト思テ置タリケルニ、男他所ヘ出行タヒニ此妻子ネフタク成テ昼寝ヲシケリ。或時隣人ノソキテ見レハ、大ナル蛇此女ノ上ニ蟠テアリ。男ニ此様ヲ告タリケレハ、男我モナトヤラン。此程ムクツケキ心アリ。サテハ不思議〔不思議〕哉ト云テ、外ヘ罷マネヲシテ隣ヨリ除ケレハ、此妻如聞昼寝ヲシケリ。大蛇来リテ女ノ上ヘハイカ、リケルヲ見テ、男走出テ太刀ヲ抜テ切ラントシケレハ、蛇女ヲヤカテヒシヒシト巻テ、イツチカ行ツランウチ失ヌ。男尋求ケレトモ行方不知。其後ヨリ

P035B/141607026

又スカスカト貧窮ニ成ケリ。不思議〔不思議〕之由聞之。」又去五月之比、河原院聖天ヘ女房一人参詣シケリ。七日ニ満シケル日、御前ニ所作シテ居タリケルカ、ツキ立テ出ケリ。良久見ヘサリケレハ、寺僧〔河原院聖天〕アヤシミテ見ケルニ、藪ニ向テ小便ヲシケルカ、ヨリスチル風情ヲシケレハ、アヤシクテ暫見ケルニ此女タハナラス惱乱シケレハ、人々ニツケテ寄テ見タリケルニ、大ナル蛇小便ノ穴ヘ入テケリ。法師トモ寄合テ、女ヲアヲノケテ、蛇ノ尾ヲ取テ引ケレトモ出ス。四五人カヲ出シテ引ケル時、蛇ノスキサシノ辺ヨリ切りテ、頭ノ方ハ腹ヘ入ヌ。女房ハ死セルカ如ニ成タリケリ。イツクノ人カト問ケレハ、息ノ下ニシカシカノ所ト云ケレハ、人ヲツカハシテ告ケリ。輿中間ナトアマタ来テ、女房ヲ取テ帰ケリ。

P036A/141607026

ヤカテ死タリトキコユ。容顔モヨニ尋常ナル女ニテソ有ケル。何事ヲ祈精〔祈請〕申ケルヤラン。聖天ノ罰カトソ沙汰シケル。カハル不思議〔不思議〕トモ満耳。

P036A/141607029

廿九日。雨降。新仙洞門立柱云々。

P036A/141608001

八月一日。雨降。夜暴雨雷電以外也。御憑。仙洞〔後小松〕進物〔金銅燭台一對。唐松枝打付。銚子提。引合卅帖〕、室町殿〔義持〕〔燭台一對。竹枝打付。銚子提桐打付。引合五十帖〕、《武家》御返被付廻〔練貫三重。太刀一振〕。宮中外様人々進物如例。菊弟〔菊亭〕御憑面ニ止之。一献了。御所様〔荣仁〕、新御所〔治仁〕ヘ入御。公私醉気及酒盛。三位〔経良〕以下候。

P036A/141608003

三日。晴。御室〔永助法親王〕ヘ御憑被進〔唐絵一幅・引合卅帖〕。自相応院〔弘助法親王〕被進〔銚子提・杉原十帖〕。御返被付廻〔石鉢・引合十帖〕。園宰相〔基秀〕当年始而献之〔倚懸・杉原十帖〕。仁科入道〔?〕初而献之〔太刀一振・盆一沈入〕。正永・寿蔵主〔仲寿〕・勝阿等今日進之。抑聞、高倉宰相入道常永今日死去云々。長資朝臣小番参。合番四条宰相隆信卿云々。

P036B/141608005

五日。晴。自御室〔永助法親王〕御返牛一頭被進之〔竹王丸、牽之〕。則《三条》帥中納言〔公雅〕御返被遣之。

P036B/141608007

七日。晴。勾当局〔藤原能子〕御憑被進之。以外遅々如何。於新御所〔治仁〕御方有盃酌。懸物被出之。目勝ニ打。面々取之。逸興也。

P036B/141608009

九日。晴。聞、今日桂地藏ヘ風流拍物参。室町殿〔義持〕并武衛〔勘解由小路〕〔義淳〕中間等寄合。田植之風情ヲ作。金欄曇子等裁着。結構驚目云々。又自或方山臥〔山伏〕峰入之体ヲ摸シテ負以下道具共唐物作之。希代見物云々。此間洛中洛外經營此事也。先年北山地蔵送如拍物云々。追日地藏利生掲焉。殊病人ニ施利生云々。

P036B/141608012

十二日。晴。仙洞〔後小松〕ヘ被申御安堵事。御領目六〔御領目録〕等取整今日被進。以源宰相〔信俊〕被付勾当局〔藤原能子〕了。

P036B/141608014

十四日。雨降。放生会。次将長資朝臣出仕。自今夕社参〔石清水〕。三位〔経良〕・重有朝臣等同道。

P036B/141608015

十五日。曉大風吹。雨降。二時晴。聞、放生會神人〔石清水〕

P037A/141608015

訴詔〔訴訟〕有四十二ヶ条。社頭〔石清水〕二神人四人閉籠奉抑神幸。仍注進再往。御裁許遲々間神幸延引云々。上卿三条大納言〔公量〕、參議中御門宰相中將〔宣輔〕、弁〔柳原左少弁〕行光、次將長資朝臣也。延否未定之間、上卿以下令逗留云々。抑聞、花山院大納言〔忠定〕自去比病氣、今日遂逝去〔死〕云々。病中幕下被宣下。西園寺〔実永〕幕下被借召。但死去之後還任云々。花山〔花山院〕無一子。仍家門無相統之仁。被尋猶子云々。桂地蔵、御所様〔榮仁〕為御代官行光三ヶ日參詣。予〔貞成〕以次願書奉納。令所願成就者可參詣者也。〔頭書〕今夜名月殊勝也。依無人不及詠歌。無念也〕

P037A/141608016

十六日。晴。放生會神人〔石清水〕訴詔〔訴訟〕御裁許被成御教書云々。然而今日神幸無先例。隔月延引有其例。隔日延引先規曾以無其例云々。仍延引了。抑園宰相〔基秀〕琵琶一面〔相甲〕獻之。多年所持之器云々。進置之由申。相甲無衆類者歟。珍敷器也。

P037B/141608017

十七日。朝晴。昼雨下。桂地蔵へ当所〔伏見〕地下人等拍物參。早旦御所二先參。雖無指風流出立美麗也。警固隨兵卅余人、色々鎧腹卷金銀作太刀刀帶之練步。次御幣持法師。次棒振鬼面ヲ着ス。次拍手卅余人。色々風流之小笠各持之。又風流大笠一本各金爛曇子印金等着之。雜々兵士等二百余人。見物雜人群集。日暮時分下向。又御所二參賜捶。雨下之間忽退出。聞、室町殿〔義持〕清和院地蔵御參籠。御堂被造替更新造云々。

P037B/141608019

十九日。雨降。昌耆法眼參。自十四五日御所様〔榮仁〕御腰痛〔病〕起居不叶。自夏比御不食之間御憔悴無極。旧冬〔応永廿二年〕御脚氣〔病〕再發之由昌耆申。夏以來同阿療治申無効驗。此間高間良藥勾当局〔藤原能子〕進之。是も無其驗。此藥共不相応之由昌耆申。御療治事被仰付了。

P037B/141608021

廿一日。晴。昌耆參。十四味建中湯并御腰付藥等

P038A/141608021

調進。大藥之由申。別而致忠節云々。仍胡銅瓶御扇等被下之。

P038A/141608023

廿三日。雨降。地蔵拍物、自四条烏丸唐人入洛之体学云々。以前諸方風流二も是程無結構。殊勝々々云々。

P038A/141608025

廿五日。陰。時正初日也。令持齋。故南向今日卅五日〔忌日〕也。令看經。大光明寺繼首座參。御所様〔榮仁〕御腰痛〔病〕二秘灸事被申。心智客最秘灸口伝云云。予〔貞成〕委細令口伝。別紙注之。

P038A/141608027

廿七日。雨降。寺〔大光明寺〕長老〔德祥正麟〕參。御所様〔榮仁〕御祈禱自廿四日三ヶ日大般若經轉讀。今日結願云々。繼首座參。御腰秘灸有御沙汰。首座〔繼首座〕灸治申。隨有効驗秘灸云々。賜御扇。

P038A/141608028

廿八日。雨降。予〔貞成〕仕女〔今參局〕着帶。有祝着事。

P038A/141609001

九月一日。晴。御香宮祭礼。今夜神幸奉拝見。於御旅所有相撲。密々面々令見物。

P038A/141609002

二日。晴。時正結願。令持齋。抑桂地蔵、御所様〔榮仁〕

P038B/141609002

御惱并御訴詔〔訴訟〕等為御祈精〔祈請〕廿四人參詣。近衛局・三位〔経良〕・重有朝臣・長資朝臣・壽藏主〔仲壽〕・周侍者・地下侍男共被駢集了。冥慮定有御納受者歟。芝殿參。

P038B/141609003

三日。晴。自仙洞〔後小松〕八朔御返被進〔太刀白一振・引合十帖〕。扇十本〔白薄様裹之〕。永基朝臣申次。正永持參。依御物忽\*〔物騒〕于今遲引云々。抑室町女院〔暉子内親王〕御遺領御安堵院宣今夜令到來。仙洞

〔後小松〕御書等勾当〔勾当局・藤原能子〕被執進之。源宰相〔信俊〕可持參之處遺例〔違例・病〕云々。三位〔経良〕折節出京之間言付進之。播州〔播磨国〕国衙并別納十ヶ郷之御安堵者追可被進云々。室町院領〔室町女院暉子内親王領〕永代可有御管領之由被載勅載。甘露寺前大納言兼長卿書之。殊更永代字被載之条御本望満足珍重也。此院宣事、自仙洞〔後小松〕室町殿〔義持〕へ被申談云々。仍室町殿〔義持〕広橋〔兼宣〕ニ有被仰旨。彼卿〔兼宣〕以三位〔経良〕有申子細。凡無御等閑時宜〔義持〕云々。伏見御安堵事者。室町殿〔義持〕へ以広橋〔兼宣〕被申。以御書三位〔経良〕罷出。

P039A/141609003

抑桂地藏ニ此御安堵事有御立願。昨日廿四人參詣。而今日院宣到来。併御利生之至彌可貴可仰。

P039A/141609004

四日。陰。三位〔経良〕帰參。当所〔伏見〕御安堵事、広橋〔兼宣〕無等閑之由申云々。勾当〔勾当局・藤原能子〕有申旨。仍播州〔播磨国〕国衙御安堵事、重仙洞〔後小松〕へ被申。抑室町殿〔義持〕来十一日可有南都下向云々。当代春日社無晴之社參。仍刷行粧可有社參云々。供奉公卿三人。殿上人七人云々。将亦東大寺大仏彩色旧損之間可被修理云々。金数百兩薄師ニ賜之。於相国寺金薄ニ打之。僧令奉行云々。室町〔義持〕御夢想以下有御慎事。仍被発大願有御祈祷云々。

P039A/141609006

六日。晴。勝阿參。室町院領〔室町女院暉子内親王領〕事被仰談。

P039A/141609007

七日。晴。入風呂。菊弟〔菊亭〕南向四十九日〔忌日〕仏事。明日引上執行云々。仍浄土三部經一部一筆自写遣之。加布施〔二百疋〕雖乏少表懇志許也。自御所〔伏見宮〕〔法華經〕提婆品一卷〔南向翻遺書〕。布施〔茶碗鉢・立名・引合十帖〕被遣之。左府〔左大臣・公行〕

P039B/141609007

返事畏悦不知所謝云々。亡魂定受悦申敷。慈雲院主〔?〕比丘尼達等入来。行施餓鬼云々。

P039B/141609008

八日。雨降。菊弟〔菊亭〕仏事、相国寺僧達十三人詔請〔招請〕。觀音懺法執行。五旬〔忌〕之間無為無事沙汰終之由申承悦也。

P039B/141609009

九日。雨降。昼晴。節供祝着如例。御香宮祭礼。風流笠拍物等參。於殿上被御覽〔榮仁〕。風流笠不入門内。仍藪ヲ切開被入之。此四五年於庭田有御見物。雖然当年計会故障申。仍於御所〔伏見宮〕被御覽〔榮仁〕。則於殿上有一獻。三位〔経良〕・重有朝臣・長資朝臣・行豊・寿藏主〔仲寿〕・周郷等祇候。女中同候。見物雜人群集。予〔貞成〕自今日百日稽古四絃和歌等始之。

P039B/141609010

十日。晴。入夜甚雨降。師子舞〔獅子舞〕參。施芸祿物扇等被下之。

P039B/141609011

十一日。朝陰ニ晴。室町殿〔義持〕南都下向。今日春日社被參。行粧晴儀也。供奉人着浄衣。公卿広橋〔広橋大納言・兼宣〕

P040A/141609011

大納言・日野中納言〔有光〕・裏松中納言〔豊光〕、殿上人雅清朝臣・資雅朝臣・義資朝臣・経興・量光・宣光云々。兼日教興朝臣雖加御点。夜前俄被留了。用意之處不參。殊計会云々。時宜〔義持〕不快也。

P040A/141609013

十三日。晴。今夜名月也。和歌短冊廿首出之。有披講。予〔貞成〕・三位〔経良〕・重長〔重有〕朝臣・長資朝臣・行豊等講之。行豊初而被召和歌。

P040A/141609015

十五日。晴。放生会〔石清水〕無為被遂行云々。上卿以下如先日。長資朝臣自昨夕參。今日下向。三位〔経良〕同參。

P040A/141609016

十六日。晴。室町殿〔義持〕自南都被下向。供奉人着狩衣〔色々織物〕刷行粧。諸大名管領〔満元〕・武衛〔勘解由小路〕〔斯波義重〕・畠山〔満家〕・一色〔義貫〕〔侍所〕・山名〔時熙〕以下參。警固武士数百人召具。御逗留之間、一乘院・大乘院・仏地院・惣林院・尊勝院・梨原六ヶ所詔請〔招請〕申。当代晴社參、初度之間、寺門〔興福寺〕經營延年

猿樂等尽興賞翫申云々。椎野入来被語云。

P040B/141609016

南朝法皇〔後龜山〕此間自吉野郡出御。刷御行粧還御大覺寺有御座。自室町殿〔義持〕御領等本復可申沙汰。可有還御之由再三被申之間還御云々。此五六年被号御窮困、吉野へ御出奔。仍世上有物言之間、管領〔滿元〕申沙汰有御和睦云々。

P040B/141609017

十七日。晴。今夜山田宮神事猿樂也。楽頭〔矢田〕雇伊勢猿樂云々。指月〔指月庵〕二行密々見物之。三番仕比興猿樂也。

P040B/141609018

十八日。雨降。予〔貞成〕聊有風氣〔病〕。今夜御香宮猿樂也。三品〔經良〕出京。当所〔伏見〕御安堵事、広橋〔兼宣〕二御催促使罷出。

P040B/141609019

十九日。晴。三位〔經良〕以狀申。広橋〔兼宣〕对面心静申談。委細条々被載書可賜。以其可披露申云々。仍当所〔伏見〕事、僧坊田事、室町院領〔室町女院暉子内親王領〕御教書事、三ヶ条被註遣了。予〔貞成〕風氣〔病〕散了。

P040B/141609020

廿日。晴。予〔貞成〕風氣〔病〕又萌。大略瘡病敷。以外令病惱。

P041A/141609020

抑大教院大納言律師隆經〔經良卿息〕、明日可伝法灌頂云々。為後記可有御助成之由申之間、桃林一頭被送遣〔牛童牽之〕畏申。行豊為堂童子罷向云々。月見岡松茸新御所〔治仁〕・椎野以下取之。予〔貞成〕依違例〔病〕不參。珍擘喝食\*〔日野一品禪門〔資教〕子息〕被相伴。寺〔大光明寺〕長老〔德祥正麟〕弟子也。

P041A/141609021

廿一日。晴。三位〔經良〕帰参。広橋〔兼宣〕他行之間御事書不付云々。法安楽〔法安寺〕并権現有猿樂。権現猿樂新御所〔治仁〕。椎野密々御見物。予〔貞成〕不參。

P041A/141609022

廿二日。晴。瘡病発日也。暁弘法大師御筆以

下濯之吞。〔法安寺僧〕良明房令加持。然而又発了。但聊輕分也。

P041A/141609024

廿四日。雨降。有地藏講。善基参勤〔参勤〕如例。先齋食〔齋食〕。次読講式。地藏名号侍臣唱之。頭人椎野・舜蔵主〔惠舜〕・女中以下八人也。瘡病又発。種々雖落無効驗。令計会。今日広橋〔兼宣〕へ室町殿〔義持〕詔請〔招請〕申。御訴詔〔訴訟〕申次為御会尺鱸魚被遣之。自仙洞〔後小松〕

P041B/141609024

有御書。先日被申御返事也。播州〔播磨国〕国衙院宣事不可有子細。奉行二可被仰付之由被申。先以珍重也。抑此間於称名院行如法經。仁称寺僧七八口行之。宝泉為亡母〔?〕執行云々。夜二女中被聴聞。抑僧周郷〔經良卿息〕天龍寺令逐電。弘暁三品〔經良〕宿所二来。乾蔵主〔周乾〕中違申云々。去春度々逐電了。父卿〔經良〕雖令諷諫不承引。不可思議〔不可思議〕也。

P041B/141609026

廿六日。晴。瘡病発日之間、良明房参令加持。仍今日落了。効驗敷為悦也。椎野一献申沙汰有盃酌。三位〔經良〕出京。

P041B/141609027

廿七日。晴。真修院〔三条局・源有泰女力〕被申安堵事。今日被染御筆被遣之。法安寺田〔二町〕、御比丘尼御所〔真乘院御比丘尼御所〕御一期之間可有御管領之由被申。播州〔播磨国〕国衙御年貢二千疋。真修院〔三条局・源有泰女力〕一瞬之後至第三年被閉之。其後可被返進之由被仰。

P041B/141609028

廿八日。晴。三位〔經良〕帰参。広橋〔兼宣〕二御事書付了。可披露之由慰勸申。瘡病以後今日行水了。九月尽

P042A/141609028

短冊出之。

P042A/141609029

廿九日。称名院如法經。椎野・三位〔經良〕以下聴聞。伽陀付物三位〔經良〕吹笙云々。

P042A/141609030

卅日。晴。園宰相〔基秀〕琵琶一面〔号村雲

桑甲)被預遣。是按察局父禪門(土御門)  
〔保光〕琵琶也。按察局祇候之間進置了(按察局去年退出了)。九月尽御歌。殊更有披講。有盃酌。

P042A/141610001

十月一日。晴。初冬吉兆。每事幸甚々々。祝着如例。椎野被帰寺〔椎野寺〕。

P042A/141610004

四日。晴。御所様〔榮仁〕多年被詠置御歌可撰集之由有仰。仍自今日撰之。往昔於伏見殿御詠者大略焼失了。其後御歌共撰集。聞称名院如法經今夜筆立云々。女中被聴聞。

P042A/141610006

六日。霽。去三月尽歌合。飛鳥井(宗雅〔雅縁〕)御点勝負事被仰了。于今無沙汰。今日到来。可謂無数奇敷。

P042A/141610007

七日。晴。室町殿〔義持〕大光明寺光臨被詔請〔招請〕申。先退藏庵

P042B/141610007

入御。点心了藏光庵入御。其後寺〔大光明寺〕へ入来齊〔齋〕被聞食則還御云々。長老〔徳祥正麟〕達六人請飯申。雜談之次御所〔伏見宮〕御事被尋申之間、御窮困式長老〔徳祥正麟〕達加芳言被申云々。御共申大名管領子息〔持元〕・畠山子息〔持国〕・山名子息〔持豊〕・一色〔義範〕・赤松越州〔越後守・持貞〕・富樫兵部大輔〔滿成〕、近習十余人云々。御装束道服(唐物白)。懸掛羅。大光明寺御引物小袖襪扇云々。退藏庵同前。

P042B/141610008

八日。晴。昌耆參。此間又有御腰痛〔病〕。御脈者無殊事由申。三品〔經良〕出京。就当所〔伏見〕僧坊田事、広橋〔兼宣〕有被仰旨。

P042B/141610010

十日。晴。三位〔經良〕帰參。伏見僧坊田事、広橋〔兼宣〕被仰談之處、可被勘落之条可有何子細哉。何様可伺申入。先可有御沙汰敷之由申。仍地下被相触了。此事自往古三御堂(九体堂・愛染王堂・不動堂)。六口僧致勤行。為供料被定置了。而御所〔伏見宮〕回禄之後不及參懃〔參勤〕。於本坊〔大光明寺?〕申御祈祷云々。然而無沙汰敷。

P043A/141610010

歳末御卷数さへ不進之間、有名無実勿論也。仍僧坊田悉被勘落了。但宇治智恩院隆守僧正為口僧〔供僧〕申御祈祷之間、此供料(二口)、被免除了(近衛局所縁之間別而被申除了)。自余輩(醍醐)各歎申。

P043A/141610011

十一日。晴。法安寺知行当所〔伏見〕安久名之内、多年為寺領〔法安寺〕。然而文書有參差事。俊阿御恩名田之内云々。依訴訟申、三品〔經良〕申沙汰俊阿二被付了。寺領〔法安寺〕今更被勘落之条、仏物不可然事敷。〔興福寺〕維摩会自昨日始行。弁勸修寺經輿下向云々。

P043A/141610013

十三日。雨降。三位〔經良〕当所〔伏見〕移住之後無宿所之間、俊阿宿所(芝)寄宿畢。然間御所〔伏見宮〕近所可祇候之由申。敷地所望之間、宝藏院敷地(庭田東面)被下了。今日四壁(東北)竹木植之。事始之間賀酒獻之。家者静可造作云々。抑聞、今夕自関東飛脚到来。今月二日前管領上杉金吾〔氏憲〕發謀叛。滿氏〔氏滿〕末子(当代持氏舅)〔滿隆〕為大將軍、数千騎鎌倉へ俄寄来。左兵衛督持氏無用意之上、諸大名敵方へ

P043B/141610013

与力之間不馳參。管領(上杉房州〔安房守・憲定〕子息)〔憲基〕為御方纔七百餘騎。無勢之間不及合戰引退。駿河国堺へ被落了。同四日、左兵衛督持氏館〔館〕以下、鎌倉中被焼払了。此由注進申。室町殿〔義持〕因幡堂御參籠之間、諸大名馳參有御評定。駿河ハ京都御管領之間先駿河へ可入申之由、守護(今川金吾〔範政])被仰。関東へ先御使可被下云々。相国寺南西堂〔?〕可下向云々。後聞、上杉金吾〔氏憲〕謀叛濫傷者、左兵衛督(持氏)母儀〔?〕を令盜犯云々。依之可被討罰之由有沙汰之間、上杉〔氏憲〕分国〔?〕へ落下了。然而盜犯事為虚名之間雖被赦免。猶討罰事鬱憤申發謀叛云々。

P043B/141610014

十四日。晴。聞、桂地藏奉仕阿波法師〔阿波男〕并与党七人、自公方〔義持〕被召捕被禁獄云々。彼法師〔阿波法師・阿波男〕非阿波国住人近郷者也。与党同心之者共数十人、種種回謀計、地藏并二狐ヲ奉付願奇得云々。或相語病人愈衆病或非。盲目者令開眼目。



P044A/141610014

種々事、彼法師〔阿波法師・阿波男〕等所行之由露頭之間、被召捕被糾問之間令白状云々。西岡男者非同心者云々。仍不相替奉仕云々。倩案之、不信輩如此申成歟。設雖相語、病人於万人利生者争可為謀略哉。地藏靈驗不可及人力者哉。尤不審事也。然而貴賤參詣者不相替云々。予〔貞成〕今日又風氣〔病〕瘧病再發歟。聞、《菊弟〔菊亭〕》公富卿自九日以外病惱云々。舜藏主〔惠舜〕一獻申沙汰有慶賀事云々。

P044A/141610015

十五日。晴。椎野六僧坊〔六僧坊田〕事、院宣被申。自御所〔伏見宮〕仙洞〔後小松〕へ被執申。仍不可有子細之由御書正永持參。永基申次也。

P044A/141610016

十六日。晴。予〔貞成〕瘧病萌則醒了。芝殿一獻持參。抑聞、昨夜自關東重飛脚到来。上杉金吾〔氏憲〕以大勢去七日責寄之間、兵衛督〔左兵衛督・持氏〕三島二打出合戰。八日討負。兵衛督〔左兵衛督〕〔持氏〕并管領〔憲基〕以下廿五人腹切之由、管領〔滿元〕并〔勘解由小路〕武衛〔斯波義重〕二注進云々。室町殿〔義持〕北野經所二御座之間、管領〔滿元〕・武衛〔斯波義重〕等馳參令披露則還御。

P044B/141610016

以外御仰天周章云々。左兵衛督〔持氏〕者室町殿〔義持〕為御烏帽子子。別而御扶持之間、御鬱憤無極云云。關東京敵對申歟之間、天下大乱之基驚入者也。

P044B/141610017

十七日。雨降。智恩院隆守僧正參。一獻持參。僧坊田二口事、別而御祈禱申上。陽明局所縁之間、以別儀被闕了。將又室町殿〔義持〕へ僧坊田事、広橋〔兼宣〕伺申之間、時宜〔義持〕無子細之由申珍重也。

P044B/141610020

廿日。晴。人麿影和歌有御法樂。予〔貞成〕出題。有披講如例。抑聞、關東事、左兵衛督〔持氏〕腹切〔切腹〕事虚説也。管領〔憲基〕者腹切了。於武衛〔持氏〕者無殊事。京都被憑申之由有注進云々。近日巷説無窮也。

P044B/141610022

廿二日。晴。三位〔経良〕屋敷事、為後証今日申賜御書〔新御所〔治仁〕被遊之。御所〔栄仁〕袖御判〔袖判〕〕。桂地藏へ行光為代官三ヶ月參詣。今日參結願也。定有御納受者歟。御堂造宮鎮守社等建立云々。

P044B/141610027

廿七日。晴。紅葉盛也。藏光庵紅葉御遊覽〔新御所〔治仁〕〕。

P045A/141610027

折節順一勾当平家語之間、一句御聽聞。其後即成院入御。三觴申沙汰云々。又行藏庵入御。此間押板障子絵或僧書之被御覽。壽藏主〔仲壽〕一獻申沙汰。順一被召一句語。被下御扇云々。公私醕酌。秉燭之間御帰。予〔貞成〕不參。

P045A/141610029

廿九日。晴。聞、自關東昨夕又注進。左兵衛督〔持氏〕駿河国へ没落。國中二被座云々。京都御合力併被憑申之由飛脚到来。諸大名被召御評定。面面閉口不申意見。而小河大納言入道〔滿詮〕被申云。武衛〔持氏〕者為御烏帽子子争可被見放申哉。且又。敵方鎌倉既一統之上者、京都へ企謀叛事難測者歟。其為も可被扶持申之条可然歟之由意見被申。仍室町殿〔義持〕諸大名同心。然間駿河守護〔今河〕〔今川範政〕・越後守護〔上杉〕〔房方〕、可合力申之由被仰。先越後国へ可被越之由武衛〔持氏〕二被申云々。去四日合戰。当方一色以下若干討死了。管領〔憲基〕腹切〔切腹〕事者無其儀。行方不知令没落云々。敵方号新御堂

P045B/141610029

〔故滿氏〔氏滿〕三男〔滿隆〕也〕。鎌倉中令一統云々。近日風聞説無窮也。記録無益歟。

P045B/141610030

卅日。晴。故南向百ヶ日〔忌日〕也。光陰如夢馳来。哀動〔哀働〕不少。抑僧坊田事、自三宝院以力者地下へ相触支申。仍三位〔経良〕三宝院へ罷向令問答之間、力者事不存知自醍醐申云々。後年事者不可支申。当年事者長日護摩懃仕〔勤仕〕申御祈禱之間、狂而可被闕之由固被申。然而御祈禱無所見。歳末御卷数不捧之上者、長日護摩難信用之由令問答云々。抑聞、押小路大納言義嗣卿〔室町殿〔義持〕舍弟。号新御所〕、今晚被逐電。室町殿〔義

持]仰天京中騒動。懸迫手被尋之間、高尾〔高雄〕隱居遁世云々。已被切本鳥〔髻〕云々。凡依窮困所領等事、室町殿〔義持〕へ雖被申無承引。不快之間依其恨如此進退云々。就其有野心之企歟之由巷説満耳。近日就関東事弥被恐怖云々。

P045B/141611001

十一月一日。晴。每事珍重々々。繪書僧在此辺〔伏見〕之間、

P046A/141611001

小野道風影〔本頼寿法橋筆云々〕令写之。脇繪〔山水〕一對同令書。馳筆書之。無相違筆者也。

P046A/141611002

二日。晴。聞、押小路重相〔義嗣〕進退事、自室町殿〔義持〕・管領〔満元〕・富樫大輔〔満成〕等為御使、可被歸宅之由雖被諷諫、敢以無承引。被恨申条々述懐。凡出家本望之間歸參不可叶之由被申云々。切鬢髮着黒衣。然而戒師恐怖無刺人云々。山科中将教高朝臣・山科中将嗣教朝臣同出家着黒衣。近習者遠江守〃〃〔?〕同出家。遁世者一兩人着黒衣云云。重相〔義嗣〕年齡廿三云々。故北山殿〔義満〕被寵愛誇榮花。事傍若無人。父公〔義満〕逝去〔死〕以後九年之間、涯分活計、官位昇進等無相違之處、近日如此進退無念之至歟。但定有野心之企歟。内心不知事也。聞、今夜慈雲院強盜乱入。院主〔慈雲院主・?〕以下比丘尼達物共被取云々。菊弟〔菊亭〕之喝食〔左府〔左大臣・公行〕息〔?〕〕折節請暇之間不逢此難云々。高運之至也。

P046A/141611003

三日。晴。早旦見之。予〔貞成〕顔拭鼠喰破了。去月之比

P046B/141611003

喰破而重喰之。吉凶尤不審。聞、三品〔経良〕息女〔?〕今日嫁入〔嫁入〕云々。八幡〔石清水〕へ罷向。先隱密云々。〔頭書〕顔拭鼠喰破事。後二存知六通院〔大通院・栄仁〕御事出来。尤凶事瑞也。)

P046B/141611004

四日。晴。今夜有小除目。大納言二人〔木造俊泰・一条兼良〕・中納言三人〔正親町実秀・小倉公雅・近衛房嗣〕・参議二人〔万里小路時房・広橋資光〕・両蔵人頭〔三条西公保

・日野義資〕拜任云々。

P046B/141611005

五日。晴。聞、押小路大納言〔義嗣〕事、仁和寺興徳庵〔絶海和尚〔絶海中津〕塔頭〕被移住云々。侍所〔一色〕〔義貫〕被仰付守護申。若野心人有奪取事者腹を切せ〔切腹〕可申云々。仍帶甲冑昼夜警固申。教高朝臣・持光入道遁世者一人、両、富樫〔満成〕二被預置可被糾問云々。凡遁世事発心之由雖被称、真実野心之企聊露頭歟之間、嚴密被沙汰云々。

P046B/141611006

六日。晴。乾蔵主〔周乾〕入来一献被申沙汰。抑舜蔵主〔惠舜〕自去夏比脚氣〔病〕所勞之間、越願寺〔超願寺〕〔乾蔵主〔周乾〕管領〕被寄住。然而乾蔵主〔周乾〕同宿無心之間、宝蔵院塔頭二今日被移住了。此事有子細。御寮〔明元〕与玄経〔三位〔経良〕妹〕不快之間、不断確執不可説也。就中深草一村事、

P047A/141611006

為宝蔵院領寿蔵主〔仲寿〕致奉行之處、代官職可改替之由御寮〔明元〕被秘計云々。仍寿蔵主〔仲寿〕鬱憤。比丘尼達追出可被成僧所之由申沙汰也。然間舜蔵主〔惠舜〕先被移住。御寮〔明元〕者陽明局被同宿。更不甘心事也。杉殿御素意難測者歟。昌者参。御惱同体也。

P047A/141611008

八日。晴。春日祭勾当内侍〔勾当局・藤原能子〕参向。弁経興参行。

P047A/141611009

九日。陰。寺長老〔大光明寺・徳祥正麟〕参御対面〔栄仁〕。抑聞、押小路大納言〔義嗣〕已落髮也。臨光院可被移住云々。教高入道・持光入道以下四人、加賀国可被配流云々。教高朝臣糾問事、管領〔満元〕意見ハ、若白状二諸大名四五人も有同心申人者可被如何候哉。御討罰可為御大事。然者糾問中々無益歟之由申。畠山金吾〔満家〕意見者、押小路殿〔義嗣〕野心之条勿論之間、参て御腹を切らせ〔切腹〕可申云々。管領〔満元〕又申。其も楚忽之儀不可然之由申。意見区々未定云々。自関東一昨日飛脚到来。御合力之勢忽\*

P047B/141611009

可下賜之由被申云々。抑花山院〔忠定〕遺跡無相続之子。仍南方近衛息〔十二歳〕花山〔花山院〕一族僧〔耕雲〔耕雲明魏・花山院

長親〕。此僧元南方祇候。當時花頂辺居住）  
為猶子令相統云々。此御所〔伏見宮〕ニ小上  
臈卜テ被祇候女房舎弟也。果報之至不慮事歟。

P047B/141611010

十日。晴。大教院隆經律師參。灌頂之時御牛  
拝領畏入之由申。

P047B/141611012

十二日。晴。御所〔榮仁〕御詠歌撰集終功了。  
入見參。今日又有御灸治。度々御灸昌耆申沙  
汰也。

P047B/141611013

十三日。晴。寺長老〔大光明寺・徳祥正麟〕  
參。被申当所〔伏見〕事、寺家〔大光明寺〕  
為後証御置文被染御筆可被下云々。御書云。』  
梵王山大光明禪寺〔大光明寺〕者、光嚴  
院御草創也。仍崇仰異于他者也。為我子孫若  
致当所〔伏見〕管領者、寺領之田畠竹木等、  
背寺家之儀致押領違乱者、奉行人及地下輩可  
被処不忠之罪科者也。仍為後証狀如件。』  
十一月十三日 御判」大光明寺方丈」

P048A/141611013

〔御袖書〕 光嚴院御置文案被相副候。如御  
置文者、檀方事為寺家〔大光明寺〕殊可被崇  
仰候。然者寺官等同守此旨、於地下無故不可  
有不義者哉。

P048A/141611014

十四日。晴。順粥事。今日始之。近衛局申沙  
汰。面々祇候。

P048A/141611015

十五日。晴。新造仙洞明日可有上棟云々。御  
馬被引進者、可然之由人々意見申之間、明日  
被進之。御馬被御覽〔青毛〕左道之馬也。於  
地下尋出云々。抑僧坊田之内、長資朝臣為御  
恩可拝領之由申。仍此内少事被下了。

P048A/141611016

十六日。陰。寒氣甚。仙洞上棟。御馬払曉被  
牽進。御書〔御所様〔榮仁〕御惱御執筆不叶。  
新御所〔治仁〕被遊之〕永基被付之。上棟奉  
行広橋大納言〔兼宣〕也。御馬彼〔兼宣〕へ  
引遣。而作事奉行結城〃〃入道〔？〕ニ自広  
橋〔兼宣〕引遣云々。御返事〔勅筆〕不思食  
寄目出御祝着之由被申。永基ニも能々可申之  
由被仰云々。抑御惱之式〔榮仁〕大略無憑令  
見御之間、予〔貞成〕始終之式歎存之由粗申

入。直奏

P048B/141611016

雖有其憚、御前無人之間大概申入了。時宜之  
趣快然。此事雖不奉、此間殊有御思案。然而  
御料所可斗申無其地之間所思煩也。播州〔播  
磨国〕国衙以下院宣事被申。勅裁到来之時可  
有御斗時宜之趣也。先御具足等可有讓与之分、  
只今可被染御筆之由被仰下。仍紙筆取進。御  
本尊御琵琶譜以下事被遊下了。料所事注別紙  
追可進之由同被遊了。時宜之趣畏悦之間、弥  
御本復祈念忠孝之志甚深也。神明任照覽者也。

P048B/141611018

十八日。凍雲寒嵐。終日冴。暮初雪降。順事  
有薪。重有・長資等朝臣申沙汰也。抑予〔貞  
成〕仕女〔今參〔今參局〕〕今曉産所ニ〔庭  
田〕罷出。無為念願而已。

P048B/141611019

十九日。晴。初雪風景其興無極。近衛局三位  
〔経良〕等雪消申沙汰有一献。抑今參局産遲  
引有邪氣〔病〕云々。然而今夜寅剋女子〔阿  
五々〕誕生。無為無事也。女子〔阿五々〕雖  
無念、先無為珍重也。是予〔貞成〕息也。

P048B/141611020

廿日。晴。早旦三品〔経良〕出京。当所以下  
御安堵御判事、

P049A/141611020

室町殿〔義持〕へ被催促申。広橋〔兼宣〕へ  
条々被仰。為御使罷出。御惱之式御持病之風  
氣〔病〕連ニ発御。凡御病体増氣以外御窮屈  
之様令見御。昌耆連日雖被召不參珍事也。自  
今曉御痢兩三度下。弥御窮屈。自夜前左御脈  
絶了。医師不候之間惡脚不弁。未剋聊御かゆ  
〔粥〕被聞食。廳御平臥。予〔貞成〕御後ニ  
祇候奉抱。事之体以外令見給。対御方御前  
〔榮仁〕祇候。被悲泣。被御覽体如存如亡。  
予〔貞成〕御後抱申。移剋之間、比丘尼玄經  
相替奉抱。可有起居之由被仰之間奉起。而御  
顔色以外也。不能言語。御口を開様也。蘇合  
入御口。不能聞食。已及難儀之間、新御所  
〔治仁〕・近衛局・重有朝臣等御前〔榮仁〕  
不祇候忽\*召之。自元御前〔榮仁〕祇候、予  
〔貞成〕・対御方・長資朝臣・比丘尼玄經等  
也。長資朝臣御後又奉抱。人參以水雖入御口、  
不及吞入。已閉眼〔死〕之体也。蔵光庵主  
〔仲訓〕。寿蔵主〔仲寿〕等馳參奉見之。御  
事切之由申。迷惑悲泣之外不弁

P049B/141611020

是非。大光明寺長老〔德祥和尚〔德祥正麟〕〕參燒香申。寺庵僧比丘尼等馳參。男女上下仰天更無言詞。則大光明寺僧衆寺庵僧達參諷經申。寺長老〔大光明寺・德祥正麟〕則出京。御葬事、室町殿〔義持〕へ為伺申入也。就鹿苑院主〔顎隱惠\*〕被披露之處、殊驚入之由被申。御茶毘事、崇光院崩御〔死〕之時沙汰之樣不相替。以其例可申沙汰之由〔大光明寺〕長老〔德祥正麟〕二被仰。御返事長老〔德祥正麟〕之衣鉢侍者馳歸申。先以如此被計申。愁中悦喜也。但崇光院御例上代也。更不可事行。可有省略之由面々有評定。抑御安堵院宣事、未無御裁許之間御閉眼〔死〕。以隱密之儀御惱已火急之由就勾当〔勾当局・藤原能子〕仙洞〔後小松〕へ被申。然椎野被申。六僧坊〔六僧坊田〕院宣到來。播州〔播磨国〕国衙以下院宣未到也。時宜之趣如何如何。三品〔經良〕在京之間被告仰。椎野・乾藏主〔周乾〕・蔭侍者〔松崖洪蔭〕等同告申。則夜中面々馳參。乾藏主〔周乾〕御茶毘事鹿苑院為談合夜中立歸被出京。三位〔經良〕秉燭以後歸參。不逢御終焉〔死〕之条無念至也。及深更

P050A/141611020

對御方・陽明局、於惣得庵被落髮。戒師《仲訓藏主》藏光庵主也。小時歸參。其姿見之。弥哀傷銘肝。悲淚滿眼。予〔貞成〕去応永十八年此御所〔伏見宮〕へ參候。爾來以降六年之間、日夜昵近、朝暮致孝、殊更去年〔応永廿二年〕自御病惱至御臨終。看病競寸暇、勵忠孝之懇志而已。倩案、進退之安否、前後惘然拭愁淚之外無他念者也。及曉更召替御衣沐浴了。移改御座。其役大光明寺藏光庵僧達勤仕〔勤仕〕。常御所立廻屏風。御座唱光明真言僧達祇候。

P050A/141611021

廿一日。晴。乾藏主〔周乾〕・寺長老等〔大光明寺・德祥正麟〕歸參。御茶毘事、鹿苑院主〔顎隱惠\*〕令談合了。所詮故御所〔榮仁〕有御置文。日來乾藏主〔周乾〕二被預申。仍被披之。播磨国衙別納之内石見郷為御菩提料所大光明寺被寄附。御没後事以此年貢可被執沙汰。每事以簡略之儀、不可有寺家〔大光明寺〕之費。將亦御位牌大通院無品親王〔榮仁〕卜可奉書之由委細被遊置了。以御置文被見鹿苑院院主〔顎隱惠\*〕之間、則室町殿〔義持〕へ入見參

P050B/141611021

披見之。御置文之上ハ如然可有其沙汰云々。御茶毘役者、火下金剛院主〔古篆和尚〔古篆周印〕〕・念誦廿日堂院主〔文明和尚〔文明周篆〕〕・取骨仏事大光明寺長老〔德祥正麟〕可勤仕〔勤仕〕之由被定仰。御中陰之儀於大光明寺可執沙汰申。籠僧可為十人云々。年内月迫可沙汰終之由委細被計申。仍如然被治定。來廿四日御茶毘之由被定。寺家〔大光明寺〕計会馳走也。每事暗然如失東西。寺庵僧數輩參。終日終夜光明真言唱之。新御所〔治仁〕・予〔貞成〕出座。侍臣等同唱之。自菊弟〔菊亭〕興衡朝臣為使參。左府〔左大臣・公行〕未吉服之間不參。仍以使者且申云々。予〔貞成〕於殿上對面每事語之退出。正永・勝阿・益直〔六条庁〕參。正永・勝阿者御中陰之間可祇候之由申。尤神妙也。仏種寺長老〔宗兼上人〕參被訪申。抑對御方局女別當〔?〕今日令落髮。就主〔對御方〕進退如此相斗歟。尤神妙也。今夜惣得庵比丘尼達參諷經申。

P050B/141611022

廿二日。晴。自諸方御訪人々參來。入江殿今御所

P051A/141611022

真乘院御比丘尼御所。南禪寺阿榮御所入御。相応院〔弘助法親王〕以御使被申。〔三条〕帥中納言〔公雅〕・勾当局〔藤原能子〕以狀申。園前宰相〔基秀〕・三位入道通光〔光仲〕・永基・祐譽律師參申。勒王院主〔洪西堂〔梵興〕〕參燒香申。安樂光院長老〔良友〕參。僧達四五人相具諷經申。深草禪衆參。赤松稻田以使者申。此外僧等自諸方參。入江殿〔入江殿今御所〕・真乘院〔真乘院御比丘尼御所〕有御逗留〔惣得庵御寄宿〕。阿榮藏主同御逗留光明真言如例。僧達曉賜粥。

P051A/141611023

廿三日。晴。前源宰相〔信俊〕參。依神事不入門内。予〔貞成〕庭二出對面則退出。行豐。隆富參。隆富者一兩日可祇候云々。今夜寅剋大光明寺出御密儀也。時刻僧達刷尊儀。奉乘御輿。先男女燒香申。御輿簾卷上拜見尊顏〔榮仁〕。聊无無變色。平生御時如眠。凡御終焉之儀不現惡想。可謂御往生者歟。今年六十六歲。宝算雖長久如夢如幻。嗚呼登極御先途遂以不被達之条。生前之御遺恨在此一事。每事悲歎落淚之外無他事。

P051B/141611023

時剋常御所自南面出御〔新御所〔治仁〕・余〔貞成〕・侍臣等庭上二立。御輿進時躡居。御輿出御門之時門内二留則歸入。長資朝臣候。御所二留候。依先規如此〕。大光明寺御共人々。經良卿・重有朝臣・隆富〔服暇之間自元着色直垂〕・常勝〔着黒衣。依此御事暇申入。今日着之〕、此外椎野殿・周乾藏主・阿榮藏主〔崇光院宮〕・洪蔭藏主〔以上宮宮〕。大光明寺僧十余輩供奉。寺家〔大光明寺〕渡御。則御入龕。地藏殿奉置諷經。其後侍臣等歸參。委細語之。哀傷一段添色。悲涙万般湿襟者也。入江殿〔入江殿今御所〕。真乘院殿〔真乘院御比丘尼御所〕。出御之儀被見申。今夜是二有御座。明日御茶毘可逢給云々。正永今朝出京。明日可歸參云々。寺〔大光明寺〕御出不供奉之条自由之至歟。

P051B/141611024

廿四日。晴。經時朝臣・隆盛朝臣・經興參。於門前重有朝臣申次則退出。九条右府〔右大臣・滿教〕以公輿朝臣被訪申。三位〔經良〕申次。三福寺長老〔?〕參。毫融僧正〔豪融僧正〕・郷秋・敦秋等參。晚頭岡殿入御。兼覺房御供參。御茶毘可逢給云々。酉刻大光明寺罷向。新御所〔治仁〕・予〔貞成〕・椎野・対御方・近衛局・經良卿・

P052A/141611024

重有朝臣・長資朝臣・隆富・正永・勝阿等參。入江殿〔入江殿今御所〕・真乘院殿〔真乘院御比丘尼御所〕・岡殿、自惣得庵直二棧敷へ入御云々。御茶毘所。寺〔大光明寺〕東門之外松楯〔杉〕等切払。荒桧墻黒木鳥居等建之。令莊嚴。鳥居之前左右〔南北〕。構棧敷。南方御所〔伏見宮〕棧敷。北方棧敷入江殿〔入江殿今御所〕・真乘院殿〔真乘院御比丘尼御所〕・岡殿・惣得庵等一所二被座云々。時剋先新御所〔治仁〕・余〔貞成〕・椎野、地藏殿二參。龕尊前燒香申。長老〔德祥正麟〕謁則棧敷二入了。尊儀〔榮仁〕茶毘所渡御之儀。先於地藏殿龕前仏事訖。次撞鉢鼓。次第行烈〔行列〕。先行者二人持燈爐先行。次旗四流。警侍者。瑛侍者〔經良卿息〕。《行藏庵》珠侍者〔洪珠〕。策侍者等持之。次鉢本〔退藏庵〕愈首座。〔大光明寺〕繼首座。次鼓轄書記。華藏主。次御位牌〔大通院宮〕洪蔭藏主奉持。次龕奉昇。御繩椎野。周乾藏主。經良卿。重有朝臣。隆富。〔行藏庵〕壽藏主〔仲壽〕等引之。次長老〔德祥正麟〕以下大衆百

人許唱阿弥陀大呪。次御茶毘之儀。次火下〔金剛院主〕古篆和尚〔天龍寺前住。普明国師〔春屋妙葩〕弟子〕。念誦〔廿日堂院主〕文明和尚〔建仁寺前住。普明〔普明国師・春屋妙葩〕

P052B/141611024

国師弟子〕。次諷經。次寺庵并入江殿〔入江殿今御所〕。真乘院殿〔真乘院御比丘尼御所〕。岡殿以下尼。比丘尼等渡諷經事訖。大衆諷經了時分。新御所〔治仁〕。予〔貞成〕。女中等歸了。凡御葬之儀嚴重也。拜見心中悲涙之外無他。抑後聞、御茶毘最中人魂飛。御棧敷辺ヨリ出云々。不思儀〔不思議〕歟。歸宅之後祝着之儀有一獻。是定法式云々。〔頭書〕人魂事。次年思合。新御所〔治仁〕魂旨諸人申云々。雖難信用面々沙汰之間記之。且有恐云々。〕

P052B/141611025

廿五日。晴。永延寺長老〔?〕。僧衆於大光明寺諷經申云々。〔葉室〕宗豊以使者申。〔真乘院主〕竹内殿〔良順?〕以狀被申。今日入江殿〔入江殿今御所〕。真乘院〔真乘院御比丘尼御所〕。岡殿御歸。阿榮藏主同御歸寺〔南禪寺〕。抑自今朝御時被結番。籠僧依御計会不候。洪蔭藏主。壽藏主〔仲壽〕。〔即成院〕善基房許候。大光明寺御中陰執行之間、於御所〔伏見宮〕者如形儀許也。椎野殿雖可有歸寺〔椎野寺〕。於一所為御仏事有御座。周乾藏主寺籠僧人数加給云々。御時結番人数。新御所〔治仁〕。余〔貞成〕。椎野。蔭藏主〔洪蔭〕。対御方。近衛局。〔宝嚴院〕御寮〔明元〕。玄經。香雲庵主。〔近衛局女〕中殿。〔対御方局女〕妙理。壽藏主〔仲壽〕。善基房。

P053A/141611025

周郷侍者。侍臣三位〔經良卿〕。重有朝臣。長資朝臣。正永。勝阿等也。毎日同音法花經〔法華經〕以下。〔写經〕光明真言等勲行。〕抑聞、押小路重相〔義嗣〕反逆之企露頭之間、教高朝臣〔加賀国〕。右佐入道〔持光〕以下三人被流罪。於途中可被誅云々。語阿被糺問之間、武衛〔斯波義重〕・管領〔滿元〕・赤松〔義則〕等与力之由白狀申。然而諸大名事中々不及沙汰云々。又聞、性藏主逐電。濫行事令露頭云々。此間室町殿〔義持〕御意快然。別而昵近僧也。

P053A/141611026

廿六日。晴。御初七日也。別而無御仏事之儀。長照院殿入御。清雲庵。良寿房等同參、於門前面々入見參。則御歸。陰陽師在貞參。樂人景清參。根西堂〔法庵景根〕僧六七人相伴參。諷經申。今夕御収骨也。仏事為聽聞公私皆參入棧敷。予〔貞成〕聊遲參。先鳥居前進寄燒香申。此間寺大衆等東門前群立歷々也。燒香了入棧敷。次長老〔德祥〕〔德祥和尚・德祥正麟〕

P053B/141611026

和尚)進寄唱仏事。其間周乾藏主。蔭藏主〔洪蔭〕。桂首座。寿藏主〔仲寿〕等奉拾御骨。抑椎野殿不拾給。為黑衣御見所不得其意。三位〔經良〕。重有朝臣同不奉拾。雖有先規不拾之条如何。諷經畢。對御方。近衛局奉拾。長老〔德祥正麟〕仏事了大衆諷經。次棒御骨。撞饒鉢寺へ入御。方丈二奉安置。次大衆於方丈庭前又諷經。新御所〔治仁〕。予〔貞成〕以下於地藏殿聽聞。事訖御位牌面々燒香申。長老〔德祥正麟〕謁則歸了。抑御仏事奉行事。經良卿被仰之處故障申。為卿位奉行違先規之由申。重有朝臣被仰堅故障申。長資朝臣父母兼備之間不及被仰。此外無其人。仍一向近衛局被申沙汰。雖如形御仏事。奉行無其人之条背先規無念也。重有朝臣其仁也。辭退不得其意者歟。

P053B/141611027

廿七日。晴。勾当局〔藤原能子〕門前まで參。面々對面移刻被歸了。勸修寺御比丘尼〔常磐井宮〕〔滿仁〕息女〕〔?〕。入來燒香申則歸。抑着服事。兼日三位〔經良〕。在弘被尋。今日廿七日

P054A/141611027

時西勘進申。新御所〔治仁〕。余〔貞成〕着服。每事略儀堅固内々儀也。丁二〔丁絹〕狩衣。大口等也。隆富今日退出。

P054A/141611028

廿八日。晴。自今日法花經〔法華經〕漸写。予〔貞成〕八之卷書之。仁科入道〔?〕參庭上候。有御對面。

P054A/141612001

十二月一日。晴。祝着之儀如形如例。

P054A/141612002

二日。晴。二七日御仏事〔忌〕。〔大通院宮〕惠舜藏主〔數日依病氣不被出頭〕被執行。即

成院坊主。法安寺坊主兩三人等參。理趣經。舍利講式等誦之。齋点心如例。常德院主參燒香申。水無瀬三位入道〔具隆〕參。虎石丸〔御牛飼〕出家暇申參。抑左府〔左大臣・公行〕以狀申。仙洞〔後小松〕へ此御事訪申入之處。被驚歎申之由委細有勅報。四絃事殊被仰下御書送賜拜見則返了。左府〔左大臣・公行〕吉服事被仰。以次職之事辭退申云々。

P054A/141612003

三日。晴。早旦惣得庵點心持參賞翫之處。梅津湯陽院主〔三条帥中納言〔公雅〕姉〕。善齋以下比丘尼兩三人參諷經申。點心未終之間座敷超請〔招請〕勸盃。予〔貞成〕初而見參。

P054B/141612003

為親昵之間對面為悅則被歸。梅津天真寺長老〔?〕。慈齋院主〔無外承広?〕等參燒香申。建仁寺僧四五人參諷經申。長広朝臣參。勾当局〔藤原能子〕御經〔金剛經翻御遺書。銘仙洞御筆〔後小松〕〕加布施〔三百疋〕被進之。

P054B/141612005

五日。晴。法安寺坊主〔良明坊〕點心等持參。抑大光明寺御仏事。別而被入事依計會不事行之間、如形點心料〔五百疋〕茶子一盆被遣之。篋僧骨折為被謝也。凡御仏事料欠乏之間、御恩輩被配分。對御方。近衛局。信俊卿。重有朝臣。隆富。永基。勝阿等涯分致沙汰〔各有差別〕。經良卿一七日御仏事〔忌〕可申沙汰之間被除了。此外七々御仏事〔忌〕。宮々被配分。伯三位〔資忠〕以雅量訪申。勘解由小路武衛〔斯波義重〕就勝阿申。虎石丸令出家參。其体比興。老体旁不便也。今夜勝阿一獻申沙汰。又光台寺玄忠參。小一獻持參御時二候。

P054B/141612007

七日。朝雨降。三七日御仏事〔忌〕引上。洪蔭藏主被申沙汰〔退藏庵奉行〕。請僧寺長老〔大光明寺・德祥正麟〕。藏光庵。退藏庵。

P055A/141612007

行藏庵。指月坊主〔指月庵〕。以下卅余人点心如例。多宝院主〔大光明寺前住〕〔良西堂?〕參則齋請之。半齋諷經如恒。惣得庵主〔?〕。御寮明元等詔請〔招請〕。男女於御前齋食。今日御仏事被勵懇志。尊靈定有御納受歟。芳德庵〔二条為定女〕捶等獻之。

P055A/141612008

八日。陰。寒氣甚。勸修寺門跡〔尊興〕為淨土院〔興經〕御使被訪申。予〔貞成〕別而預御云付。今夜地下人一獻進上。

P055A/141612009

九日。飛雪時々降。前典藥頭明成朝臣參。鄉成朝臣以使者申。楊柳寺尼衆茶子以下持參燒香申。光台寺玄超御茶子以下獻之。

P055A/141612010

十日。晴。晚雪降。故西御方年忌也。〔光台寺〕玄忠。妙俊等請之。齋点心如例。予〔貞成〕持齋斷酒也。凡御七日〔忌〕每度持齋斷酒也。勸王院主〔洪西堂〔梵興〕〕法花經〔法華經〕一部。布施〔千疋〕被進。不慮之儀芳志之至也。草玉庵茶子等獻之。

P055A/141612011

十一日。雪時々降。法華寺長老〔光明院宮〕〔?〕頓写一部。

P055B/141612011

奈良紙廿束被進之。卅五日〔忌〕為御追善云々。仍御遺物葛一合。瑜伽經一卷被進之。〔宇治〕智恩院參。惣得庵。御寮明元等參。小一獻持參、今夜祇候。唱光明真言。壽藏主〔仲壽〕御仏事。入大光明寺燒風呂。新御所〔治仁〕。予〔貞成〕。侍臣等入之。抑聞、關東武衛〔持氏〕室町殿〔義持〕御旗被申。仍御旗之文字行豐書之。代々佳例云々。令精進潔齋書之。奉行長沢以御旗關東下向云々。

P055B/141612012

十二日。雪降。四七日御仏事〔忌〕。綾小路三位〔經良〕申沙汰。請僧光台寺坊主以下八人。惣得庵。御寮明元等請之。点心齋如例。男女上下食之。半齋諷經了。阿弥陀經礼讚等勲行。

P055B/141612013

十三日。晴。崇光院御年忌引上。御仏事半齋諷經如例。抑大通院〔榮仁〕御遺骨御中陰之間御座。今日深草法花堂。〔椎野〕淨金剛院〔椎野寺〕等奉渡之。勝阿〔着禪衣〕奉持之行向。寺僧請取奉収云々。真修院〔三条局・源有泰女力〕点心料〔百疋〕御比丘尼御所〔真乘院御比丘尼御所〕点心捶等被進之。」

P056A/141612013

抑絶海国師〔絶海中津〕拜塔二内裏有御受衣之儀。鹿苑院主〔鄂隱和尚〕參内取続申。舞

人參向厳重儀云々。予〔貞成〕着服之時。烏帽子不出来。今日正永進之着之。遅々甚不可説也。

P056A/141612014

十四日。晴。聞、絶海和尚〔絶海中津〕国師号被送遣。淨印翼聖国師云々。勸使日野中納言〔有光卿〕也。勸使祿鵝眼百貫。沙金等自寺家〔大光明寺〕送遣云々。禁裏御受衣。御諱大宝寿云々。抑御諱躬仁也。而躬之字室町殿〔義持〕被難申。身ニ弓アリ可有難敷云々。鹿苑院鄂隱和尚被仰談。躬字同声之字ニテ可被改直申云々。自僧中可計申之条。有斟酌之由雖被辞退申。重被仰。仍実仁〔ミ〕〔ミヒト〕ト被直申云云。僧中勘進先例不審。希代事敷。白河院皇子実仁〔サネ〕〔サネヒト〕親王同字敷。如何。」今日淨隱庵茶子二盆獻之。地下殿原衆捶二〔并百疋〕等進上申。御中陰之間出来諸人芳志無何記之。比興之至後見有憚々々。

P056B/141612015

十五日。晴。香雲庵点心以下被申沙汰。

P056B/141612016

十六日。霽。〔陰陽師〕泰繼朝臣參。大光明寺卅五日御仏事。乾藏主〔周乾〕被執沙汰申。当所寺庵僧八十人詔請〔招請〕云々。安楽光院長老〔良友〕參。明日卅五日御仏事引上。椎野被申沙汰。御經供養為導師詔請〔招請〕也。見乘房〔故隆仲卿息〕同參。自菊弟〔菊亭〕有書状。青侍良政入道〔法名良円。西園寺所侍也。菊弟〔菊亭〕兼參奉公〕。昨日午剋死去云云。於家門多年予〔貞成〕旧遊之友也。殊不便無極。抑聞、押小路巫相〔義嗣〕叛逆之企露顯。關東謀叛彼巫相〔義嗣〕所為云々。山門南都被相語。回文等自寺門入見參。仍臨光院如樓舍拵之。而偷盜忍入軒格子切破。番衆見付之間盜人逃了。是巫相〔義嗣〕為取出云々。依之弥厳密被守護。向後有如此之儀者可殺害申之由被下知云々。

P056B/141612017

十七日。晴。卅五日御仏事〔忌〕。椎野申沙汰。頓写法花經〔法華經〕一部被供養。導師安楽光院長老〔良友〕也。半齋諷經了。有經供養。説法殊勝感涙難禁。面々

P057A/141612017

落涙添哀傷了。副供養。繪像地藏菩薩一幅〔新御所〔治仁〕御筆〕。梵網經一卷〔翻御

遺書奉摺写)。円覚經一卷(予〔貞成〕奉書写)。寿量品一卷(翻遺書摺写)等也。对御方。近衛局。綾小路三位〔経良〕。重有朝臣。各諷誦上之。布施各別。後日被送遣了。惣得庵主。御寮明元等。善勝庵坊主詔請〔招請〕。今日之儀如形可謂嚴重歟。

P057A/141612018

十八日。晴。良西堂〔多宝院主?〕焼香參。即成院坊主一献持參。

P057A/141612019

十九日。陰。大通院〔栄仁〕御具足等取出。御遺物諸人被配分。雖無指物且先例也。他所へも被遣之。目六〔目錄〕注別紙。自入江殿漸写法花經〔法華經〕一部。点心。茶子。捶等。今御所茶十袋。二盆被進之。勸修寺御比丘尼一盆。捶等被進之。(政所)禪啓(百疋)。捶等進上。此等則有賞翫。

P057A/141612020

廿日。晴。御月忌始。如形御仏事。半齋諷經如例。齋点心。寿蔵主〔仲寿〕為奉行。光台寺二盆。捶等進之。抑蔵光庵別而御忌中執沙汰申。今日勤行

P057B/141612020

滿散云々。新御所〔治仁〕焼香二入御。聞。今夜内侍所御神樂也。源宰相〔信俊〕不參。

P057B/141612021

廿一日。晴。六七日御仏事〔忌〕引上。予〔貞成〕申沙汰。請僧蔵光庵僧衆參。半齋諷經如例。齋点心。寿蔵主〔仲寿〕為奉如形之儀。窮困今更愁歎之中遺恨也。自岡殿法花經〔法華經〕一部。布施(二百疋)。被進之。御看經目六〔目錄〕被相副。懇懃御沙汰也。大光明寺。御中陰明日結願。然而為例日之間。今夕御位牌仏殿総塔二奉渡云々。諷經為聽聞。新御所〔治仁〕。予〔貞成〕。椎野。对御方。近衛局等寺〔大光明寺〕へ參。侍臣同參。梅尾阿伽井坊以使者付勝阿訪申。菓子折櫃一合。捶等献之。勝阿私二儲云々。

P057B/141612022

廿二日。晴。大光明寺御中陰結願。当所寺庵僧悉詔請〔招請〕云々。建仁寺前住(文西堂)參。心知客參。香点〔香典〕(百疋)献之。大教院隆經律師參。御室〔永助法親王〕御使公私相兼參云々。予〔貞成〕自廿日三ヶ日持齋断酒也。

P057B/141612023

廿三日。雨降。為御仏事風呂被焼。面々入之。

P058B/141612023

自菊弟〔菊亭〕法花經〔法華經〕(漸写)一部。御布施(三百疋)被進之。尽七〔忌〕御追善殊更表懇志之由左府〔左大臣・公行〕申。夜芝殿一献持參。今夜祇候。御時被結縁。

P058A/141612024

廿四日。雨降。早旦導場室礼。塗籠一間押入立屏風。本尊尺迦像〔釈迦像〕奉懸。西脇阿弥陀像奉懸。其前大机一脚立之。敷打敷(唐織物)。机下有水引。御位牌安置。備供具花瓶。香炉。燭台等如恒。千手觀音像(入厨子。累代本尊)置仏壇〔仏壇〕(觀音懺法行之。為本尊)。導場奥北四ヶ間(仏前脇)立廻屏風。東間懸不動像。南面四ヶ間懸亘翠簾。廂間二ヶ間(西面)懸翠簾為聽聞所。今夕觀音懺法。明日拈香被行。仍室礼如此。入江殿今御所光臨為御焼香云々。則御帰。玉櫛禅門參焼香申退出。隆富參(御仏事料二百疋献之)。相応院門跡〔弘助法親王〕御馬一疋(但代二百疋)被進之。諷誦御布施云々。晚景大光明寺長老〔徳祥正麟〕。垠西堂〔法庵景垠〕以下僧衆十七人參。有諷經。此時分風雨烈々違乱也。諷經了。長老〔徳祥正麟〕以下退出。但懺法衆残留。亥剋

P058B/141612024

懺法始之。導師(勒王院主)洪西堂〔梵興〕香花(天龍寺)二首座。僧衆垠西堂〔法庵景垠〕。繼首座。(指月坊主〔指月庵〕)廊首座。乾蔵主〔周乾〕。蔭蔵主〔洪蔭〕。(蔵光庵主)訓蔵主〔仲訓〕。華蔵主。禅蔵主。周書記。(長老〔徳祥正麟〕)衣鉢侍者。維那。警侍者等十四人也。懺法事更殊勝。催感涙。幽霊定随喜御歟。聽衆濟々候。芝殿。惣得庵主。御寮明元。比丘尼達參。懺法畢。僧衆聊勸食事。退出。明日經營終夜物忽\*而已。

P058B/141612025

廿五日。(〔頭書〕抑拈香新主〔治仁〕御名可如何申哉之由長老〔徳祥正麟〕被不審申。先例不審之間。菅宰相長遠卿二相尋。無官宮先例不覺悟之由申。仍只伏見宮卜可被申之由長老〔徳祥正麟〕二被示了。)天晴。風静。尽七之儀令結願。大光明寺長老〔徳祥正麟〕拈香。勒王院主(洪西堂〔梵興])。垠西堂〔法庵景垠〕。以下僧衆卅六人詔請〔招請〕。



早旦点心了。先退出。半齋〔半齋〕時分參  
〈大光明寺衆僧悉參。但座席狹少之間、諷經  
了少々退出。寺中齋食点齋被入之〉。先拈香。  
次諷經。次齋食。茶礼了。長老〔德祥正麟〕  
勒王院主〔洪西堂・梵興〕〈新御所〔治仁〕〉  
御対面。僧衆退散。御中陰無為無事結願珍重  
也。殊拈香殊勝。尊靈得脱無疑者歟。今日之  
儀。壽藏主〔仲壽〕奉行。宮中外様男女上下  
齋点心等食之。頗大儀也。無為申沙汰神妙也。  
惣得庵主以下參如例。抑源宰相〔信俊〕參。  
御仏事中不祇候。適參來。

P059A/141612025

然稱有急事早出。拈香不及聽聞。不可說也。  
定有所思歟。如何。六条庁經直參〔着布衣〕。  
拈香之間祇候。事了退出。椎野。乾藏主〔周  
乾〕。蔭藏主〔洪蔭〕以下篋僧退出。正永。  
勝阿同退出。導場取破了。隆富御仏事無為珍  
重之由申。賀酒献之。退出。入夜三位〔經良〕  
一献申沙汰。中陰畢夜魚味食之。定法云々。  
魚食雖難治為祝着食之。抑退藏庵。惣得庵。  
御仏事少事点齋分被入之。今日吉日之間煤払  
初了。但不及掃除。

P059A/141612026

廿六日。晴。三位〔經良〕出京。鹿苑院為御  
使參。御遺跡事。室町殿〔義持〕へ可被申沙  
汰之由被仰。御遺物兩種被遣之。不動一幅  
〈縫物。累代御秘藏本尊也。殊縫物無衆類者  
也〉。瑠璃花瓶香台二居。此等三品〔經良〕  
令持參。抑故御所〔榮仁〕被下御置文。以陽  
明局新御所〔治仁〕入見參。御返事追可承之  
由被仰下。勾当局〔藤原能子〕。姫御所達御  
服

P059B/141612026

被進之。予〔貞成〕息〔阿五々〕にも賜之。  
不存寄為悦。

P059B/141612027

廿七日。晴。夕雪降。煤=払〔煤払〕祝着之  
儀如例。三品〔經良〕帰參。鹿苑院対面委細  
申。每事不可有等閑之由被申。縫物不動殊更  
悦喜。重宝之間可秘藏云々。今夜姫御所〈新  
御所〔治仁〕第二宮〉〔真榮〕御魚味并御深  
剪等有祝着事如形。殊更許也。長資朝臣嫡子  
〔經房?〕魚味有祝着之儀。三位〔經良〕抱  
嫡孫參。一献進之。殊更三献了。引物被下  
〈胡銅花瓶御扇〉。則退出。蔭藏主〔洪蔭〕  
今日天龍寺被帰。今夜貢馬御覽云々。

P059B/141612028

廿八日。雪降。惣得庵主〔?〕。御寮明元等  
參。一樽持參。

P059B/141612029

廿九日。陰。旧月精進。入風呂如例。新御所  
〔治仁〕大光明寺入御。大通院〔榮仁〕御遺  
物三種〈草衣文殊一補。北=〔居簡〕詩十冊。  
茶碗\*花瓶一〉。被遣之。今夜今參局自産所  
帰參。姫宮〔?〕入御。則見參。新御所〔治  
仁〕へ參。御扇。呉器等賜之。殊更有一献。

P059B/141612030

卅日。晴。左曆已卷尽了。計会忽劇\*而已。  
勸修寺

P060A/141612030

經直參。經興依計会不參。其代官參云々。神  
事之由申不入門内。初參之間門前二出御有御  
対面。寺長老參。唐絵一幅〈榮書記筆梅花〉。  
鸚鵡盃。梶原〔杉原〕十帖持參。御代始御礼  
進之云々。寺庵僧達歳末礼面々參。除夜之儀  
祝着有盃酌。明春引替吉事念願。自他祝着了。」

宮中雜事御仏事等委細記錄。後見尤有憚。  
雖然後日自然為不審巨細記之。万歳以後須投  
火中。」 月次連歌懷紙散在不可然之間、  
態与翻懷紙書之。且後日為一覽也。百韻守次  
第続之。更不可有混乱。